

統合ソフトウェア操作説明書（Auto Tracking）

目次

統合ソフトウェア操作説明書（Auto Tracking）	1
本書の記載.....	3
商標および登録商標について	3
本書の記載について.....	3
Auto Tracking プラグインについて	4
機能	4
Auto Tracking 機能の特徴.....	4
Auto Crop Tracking 機能の特徴.....	5
各機能の推奨シーン.....	6
動作環境.....	7
ライセンスについて.....	10
本プラグイン上で登録する個人情報の扱い	10
機能を使用するための手続き	11
機能を使用するための手続きについて	11
無償トライアルを開始する	11
ライセンスのアクティベーションを行う	12
Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の同時動作可能なカメラ台数の上限.....	12
ライセンスのディアクティベーションを行う	13
ライセンス状態の確認.....	14
実行用データのインストール	14
実行用データのアップデート	14
PC ハードウェアの設定	15
PC ハードウェアの設定について	15
PC のネットワーク接続.....	15
PC のネットワークアダプタ設定	15
PC の電源アダプター接続（ラップトップ PC 限定）	16
PC の電源プラン設定（ラップトップ PC 限定）	16
NVIDIA 社製 GPU のインストール.....	16
リモートカメラ本体の自動設定	17
自動設定項目	17
Auto Tracking 機能有効時の自動設定項目	18
Auto Crop Tracking 機能有効時の自動設定項目	19
画面の説明.....	20

画面の説明	20
Auto Tracking 操作.....	21
リモートカメラを登録する.....	21
Auto Tracking 機能の有効／無効化	21
Auto Tracking 動作の開始／停止を行う	22
追尾対象の設定と追尾の開始.....	22
追尾対象の変更.....	24
Auto Tracking 中の追尾状態を確認する	24
Auto Tracking 中のカメラアングルを設定する	25
Auto Tracking 中の顔認証機能の動作を設定する.....	27
Auto Tracking 中の認証する顔データを選択する.....	28
認証する顔データを追加する	29
Auto Tracking のオプション機能を設定する	31
オートスタートエリアの設定.....	32
マスクエリアの設定.....	33
詳細設定.....	34
Auto Crop Tracking 操作.....	37
事前準備.....	37
CropAdjust を設定する	38
Crop 機能の設定を行う	38
カメラの制御／操作を行う	38
Auto Crop Tracking 機能の有効／無効化	39
Auto Crop Tracking 動作の開始／停止を行う	40
追尾対象の設定と追尾の開始.....	41
追尾対象の変更.....	42
Auto Crop Tracking 中の追尾状態を確認する	42
Auto Crop Tracking 中の Crop 枠のアングルを設定する	43
Auto Crop Tracking 中の顔認証を設定する.....	45
Auto Crop Tracking 中の認証する顔データを選択する	46
認証する顔データを追加する	46
マスクエリアの設定.....	47
詳細設定.....	48
周辺機器を使用した Auto Tracking／Auto Crop Tracking 操作	50
外部コントローラで Auto Tracking／Auto Crop Tracking 操作を行う	50
キーボードで Auto Tracking／Auto Crop Tracking 操作を行う	50
アカウント権限による機能制限.....	51
権限による制限の一覧.....	51

本書の記載

商標および登録商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows[®] 11 および Microsoft Edge[®]は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPadOS、iPhone、iPad、Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。 iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Android[™]、Chrome[™]ブラウザは Google LLC の商標です。
- Intel[®]、Intel[®] Core[™]は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の記載について

- 本書内のイラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。
- 本書では、パーソナルコンピュータを「PC」と記載しています。
- 本ソフトウェアは、Media Production Suite の PC ソフトウェアを指しています。
- 本プラグインは、Auto Tracking プラグインを指しています。
- 本機能は、Auto Tracking プラグインで使用する機能のことを指しています。

Auto Tracking プラグインについて

機能

本プラグインには、下記の 2 つの機能があります。

1. PTZ による Auto Tracking 機能
2. Crop による Auto Crop Tracking 機能

それぞれに固有の特徴があり、使用条件に合わせた使い分けをお願いします。

Auto Tracking 機能の特徴

Auto Tracking 機能には、下記の 5 つの特徴があります。

1. 人物の追尾アシスト

リモートカメラで撮影している映像の中から選択した人物の追尾を自動 PTZ 制御でアシストすることができます。

ディープラーニング技術を用いた、人体検出機能及び、設定された人物の顔を検出する顔認証機能により、安定した追尾動作を自動で行うことができます。

2. 複数台のリモートカメラによる同時追尾

PC 1 台で、8 台までのリモートカメラを同時制御して自動で追尾動作を行うことができます。

3. 追尾対象の自動検出

リモートカメラで撮影している映像の中の人物を自動で検出して追尾を行うことができます。

4. 追尾対象のアングルの詳細設定と呼び出し

追尾対象のアングル 3 種類（Full、FullBody、UpperBody）のカメラ映像上での位置、サイズを詳細に設定することができます。

設定したアングルをワンクリックで呼び出すことができ、追尾対象がカメラに対して前後左右に動いても、自動で Pan/Tilt/Zoom 倍率を調整し、設定したアングルを維持し続けます。

5. 複数台一括監視・管理

最大 4 台まで同時にリモートカメラの映像及び、追尾状態を一つの画面で監視、管理、追尾対象をロストした場合の補正差作業等の操作ができます。

<NOTE>

- ・本機能は、画像処理を使用しているため、追尾対象の誤検出が発生することがあります。
誤検出時の対応などのため、オペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。

Auto Crop Tracking 機能の特徴

Auto Crop Tracking 機能には、下記の 7 つの特徴があります。

1. 人物の追尾アシスト

リモートカメラで撮影している映像の中から選択した人物の追尾を自動 Crop 枠制御でアシストすることができます。

ディープラーニング技術を用いた、人体検出機能及び、設定された人物の顔を検出する顔認証機能により、安定した追尾動作を自動で行うことができます。

2. 追尾のロバスト性

たとえ追尾中の Crop 映像外に被写体が出てしまっても、カメラが撮影する映像（Full 映像）で俯瞰的に撮影しているために、
被写体を完全にロストしづらいです。

3. 1 台のリモートカメラで 3 つの Crop 枠を自動制御

同じ人を複数の異なるアングルで撮影することができたり、異なる 3 人をそれぞれ別の Crop 枠で追尾することができます。ただし、同時映像出力としては、1 つの Crop 枠のみです。

4. 複数台のリモートカメラによる同時追尾

PC 1 台で、8 台までのリモートカメラを同時制御して自動で追尾動作を行うことができます。

例えば、2 台のリモートカメラで Auto Crop Tracking 機能を使用かつ、6 台の他のリモートカメラで Auto Tracking 機能を同時に使用するといったことも可能です。

5. 追尾対象の自動検出

リモートカメラで撮影している映像の中の人物を各 Crop 枠において自動で検出して追尾を行うことができます。

6. 追尾対象のアングルの詳細設定と呼び出し

各 Crop 枠において追尾対象のアングル 3 種類（Full、FullBody、UpperBody）の Crop 映像上での位置、サイズを詳細に設定することができます。

設定したアングルをワンクリックで呼び出すことができ、追尾対象がカメラに対して前後左右に動いても、自動で Crop 枠の H/V 方向の位置、Zoom 倍率を調整し、設定したアングルを維持し続けます。

7. 映像出力の切り替え

指定する映像出力先(ex. SDI、NDI、IP2)で Full 映像と、3 つの Crop 映像の出力を切り替えることができます。つまり、カメラ 1 台で簡易的な映像スイッチングシステムを構築することが可能になります。

<NOTE>

- ・本機能は、画像処理を使用しているため、追尾対象の誤検出が発生することがあります。
誤検出時の対応などのため、オペレータによる補正作業ができる環境にてご使用ください。

各機能の推奨シーン

- ・ Auto Tracking 機能の推奨シーン

Auto Tracking 機能は、カメラの PTZ 機能を使用するため、被写体の移動（撮影）範囲が比較的広くても追尾することができ、移動範囲にも大きな制約はありません。そのため、一般的な多くのシーンでご使用可能です。ただし、スポーツのような激しい動きが伴うものに関しては、一度トライアルライセンス等で撮影品質について、あらかじめご確認いただくことを推奨します。

（Ex）講演、講義、企業プレゼンテーションなど

- ・ Auto Crop Tracking 機能の推奨シーン

Auto Crop Tracking 機能は、カメラの Crop 機能を使用するという特性上、被写体の移動（撮影）範囲が比較的狭くかつ、移動範囲が固定されている環境下での使用を推奨します。また、3つの Crop 枠を使用することができるため、複数人を同時に撮影するような環境での使用に適しています。

（Ex）座談会やパネルディスカッション、ニュース番組など

動作環境

本プラグインを使用するには、以下の環境が必要です。

■インストール PC

・OS ※1 ※2

Windows Server 2022

Windows 11

・ハードウェア（必須）

CPU：

Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の同時動作カメラ数が 4 台までのとき
コア数が 4 コア以上、PassMark 値が 7000 以上

- 推奨 CPU

Intel Core i7-7700K

Intel Core i7-4770K

Intel Core i7-8750H

Intel Core i7-11800H

Intel Core i7 13700/14700

Intel Core i9 13900/14900

Intel Core Ultra 5 / 7/ 9

Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の同時動作カメラ数が 8 台までのとき
コア数が 4 コア以上、

PassMark 値が 7000 以上の CPU 2 台構成(Dual CPU)

または、PassMark 値が 18000 以上の CPU 1 台

- 推奨 CPU

Intel Core i7-10700K

Intel Core i7-11800H

Intel Core i7 13700/14700

Intel Core i9 13900/14900

Intel Core Ultra 5 / 7/ 9

GPU：Turing、Ampere、Ada Lovelace、Blackwell アーキテクチャの NVIDIA 社製 GPU

※3 ※4 ※5

GPU 機種毎の Auto Tracking/Auto Crop Tracking 同時動作可能カメラ台数表 ※6

Auto Tracking 同時動作 カメラ 台数	NVIDIA 社製 GPU アーキテクチャ世代			
	Turing	Ampere	Ada Lovelace	Blackwell
1	GeForce RTX2050 以上 Quadro RTX4000 以上	GeForce RTX3050 以上 RTX A2000 以上	GeForce RTX4050 以上 RTX2000 Ada 以上	GeForce RTX5050 以上 RTX PRO2000 Blackwell 以上
2	GeForce RTX2050 以上 Quadro RTX4000 以上	GeForce RTX3050 以上 RTX A2000 以上	GeForce RTX4050 以上 RTX2000 Ada 以上	GeForce RTX5050 以上 RTX PRO2000 Blackwell 以上
4	GeForce RTX2060 以上 Quadro RTX4000 以上	GeForce RTX3060 以上 RTX A4000 以上	GeForce RTX4050 以上 RTX2000 Ada 以上	GeForce RTX5050 以上 RTX PRO2000 Blackwell 以上
8	GeForce RTX2080Ti	GeForce RTX3070 以上 RTX A4500 以上	GeForce RTX4070 以上 RTX4500 Ada 以上	GeForce RTX5070 以上 RTX PRO3000 Blackwell 以上

メモリ：16GB 以上

ディスプレイ：1920x1080 以上

ストレージ：16GB 以上の空き容量

・ソフトウェア

Web ブラウザ：Microsoft Edge、 Google Chrome

<注意事項>

※1：インストール PC の Windows OS は C ドライブにインストールされた状態でご使用ください。

※2：動作保証する OS 言語は日本語／英語／中国語のみとなります。

※3：本プラグインを使用するためには、NVIDIA 社の公式サイトから、PC にインストールされている GPU に合う最新の GPU ドライバのバージョンに更新する必要があります。

※4：Pascal アーキテクチャ以前の NVIDIA 社製 GPU は、動作保証していません。

※5：GPU の必要機種に関しては、Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能を動作させる上で、最低限必要なスペックになります。特に、Auto Tracking/Auto Crop Tracking の同時動作カメラ台数が多い場合は、上の表に記載されている GPU の品番よりも上位機種になるほど、Auto Tracking の性能は向上します。

※6：Auto Tracking/Auto Crop Tracking 同時動作カメラ台数が 4 の GPU を 2 枚使用することで、8 台同時動作ができます。

■クライアント（ブラウザ端末）

・OS

Windows 11

macOS 13 (Ventura) 以降

iPadOS 16 以降

・ハードウェア

ディスプレイ：1920x1080 以上（iPad 以外）

・ソフトウェア

Web ブラウザ：Microsoft Edge、Google Chrome

■Auto Tracking 機能をサポートするリモートカメラ

Auto Tracking 機能は、下記のパナソニック製リモートカメラ機種をサポートしています。

AW-UE160/UE163、AW-UE150A/UE158/UE148、AW-UE150/UE155/UN145、AW-HE145、
AW-UE100、AW-UR100、AW-UE80/UE83、AW-UE50/UE53、W-UE40/UE43、AW-UE30、
AW-HE40/HN40/HE35/HE38/HN38/HE65/HN65/HE48/HE58/HE70/HN70、
AW-UE70/UN70/UE65/UE63、AW-HE75/HE68/HE42、*AW-UE20、*AW-HE20

(2025 年 6 月現在)

最新の対応機種は下記 WEB サイトの Media Production Suite の Auto Tracking

(AW-SF100G/SF200G/SF202G/SF203G) 商品ページをご確認下さい。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

■Auto Crop Tracking 機能をサポートするリモートカメラ

Auto Crop Tracking 機能は、下記のパナソニック製リモートカメラ機種をサポートしています。

(カメラが Crop 機能を有しているものに限りです)

AW-UE160/UE163、AW-UE150A/UE158/UE148、**AW-UE150/**UE155/**UN145、
AW-UE100、AW-UR100

(2025 年 11 月現在)

<NOTE>

- ・リモートカメラのファームウェアは最新版にしてご使用ください。

ファームウェアは、以下の Web サイトからダウンロードすることができます。

<https://eww.pass.panasonic.co.jp/pro-av/support/content/download/JP/top.html>

- ・本ソフトウェアをインストールしている PC とリモートカメラ間のネットワーク接続は有線 LAN 接続を推奨します。無線 LAN 接続の場合、追尾ターゲットをロストしやすくなるなど、十分な追尾性能が得られない場合があります。
- ・サポートするリモートカメラに記載されている一部の機種は販売されていない地域があります。
また、*のついている機種（AW-UE20、AW-HE20）に関しては、AW-UE30 以上の上位機種に比べて追尾性能に制限があります。
- ・**のついている機種（AW-UE150/UE155/UN145）に関しては、Crop 枠のズーム率が固定になります。

そのため、オートズームを用いたアングル設定等を行うことはできません。

ライセンスについて

本プラグインは有償です。

本プラグインの試用開始から 90 日間は本機能をテストするための試用期間となっているため、無償でご使用いただくことができますが、試用期間終了後はキーコード（ライセンス）をご購入の上アクティベーションを行って頂く必要があります。

また、同じライセンスで、Auto Tracking 機能、Auto Crop Tracking 機能の両方をご使用可能です。

詳細は本書の「[機能を使用するための手続き](#)」の項目を参照ください。

本プラグイン上で登録する個人情報の扱い

当社は、本プラグイン上で登録される個人の顔写真などの個人情報を、収集、保管、および弊組織内で共有をすることはありません。本プラグイン上で登録されるいかなる情報も、本プラグインがインストールされた環境（PC、サーバー）にのみ保存され、それ以外の場所に保存を行うことはありません。

機能を使用するための手続き

機能を使用するための手続きについて

本機能は有償プラグインとなります。

90 日のトライアル期間中は無償で機能を試用できますが、トライアル期間が終了した後に継続して機能を使用するには有償ライセンス（キーコード）を購入してアクティベーションを行う必要があります。

無償トライアルの開始および有償ライセンスのアクティベーションの手続きは、本ソフトウェアの Information 機能上で行います。

Information 機能でできることは以下になります。

- ・ 本機能の無償トライアル開始
- ・ 本機能のライセンスのアクティベーション／ディアクティベーション
- ・ 本機能のライセンス状態確認
- ・ 本機能のインストール
- ・ 本機能のアップデート

無償トライアルを開始する

トライアル開始の手続き後、90 日間は無償で Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能を利用できます。

トライアルの開始手順は Information 機能操作説明書の「有償プラグインの管理」→「トライアルを開始する」を参照してください。

ライセンスのアクティベーションを行う

有償ライセンスを購入してアクティベーションを行うと、Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能を無期限に使用できます。

アクティベーションの手順は Information 機能操作説明書の「有償プラグインの管理」→「ライセンスのアクティベーションを行う」を参照してください。

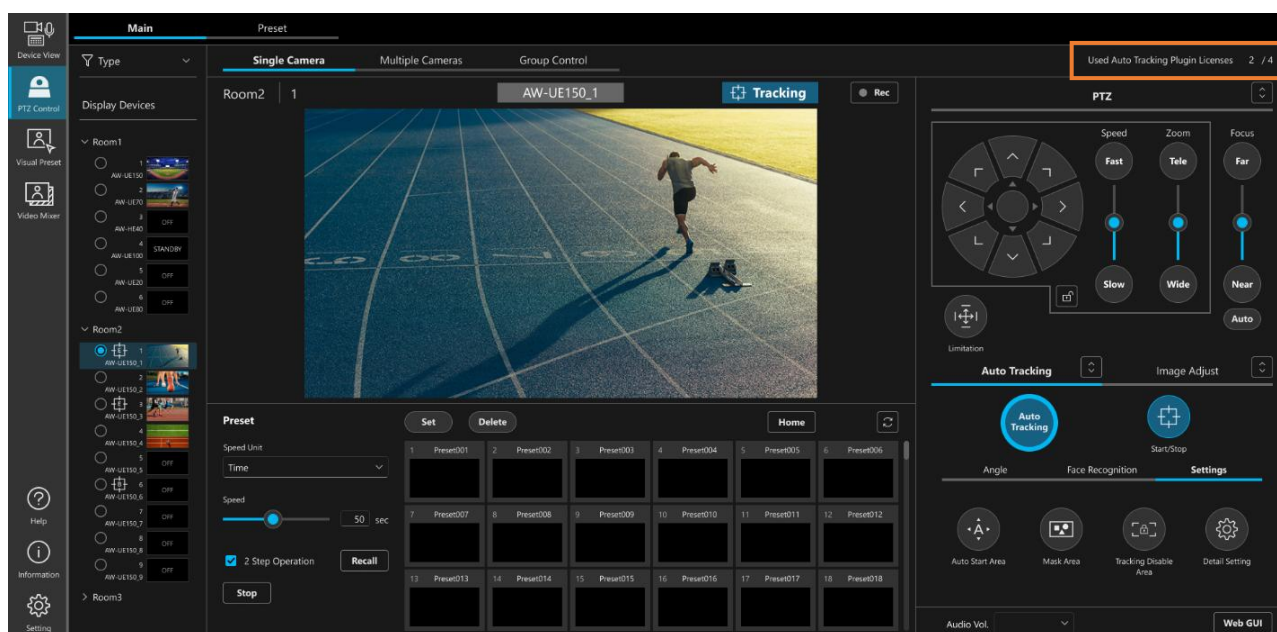
※インストール PC がインターネットに接続されている必要があります。

無償トライアルを行っていない場合、約 2GB のデータをダウンロードするため、回線状況が良い環境で手続きを行うことを推奨します。

処理が正常に終了すると License Status が[Activated]に変化して、画面左の機能選択エリアの[PTZ Control]画面の右上の Used Auto Tracking Plugin Licenses のライセンス数の右側の数値が更新されます。

この左側の数値は、現状の Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の使用カメラ台数、右側の数値は、Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の最大使用カメラ台数（アクティベーション済のライセンス総数）を意味します。処理が反映されるまで、最長 1 分程度かかります。

Used Auto Tracking Plugin Licenses 0 / 1



Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の同時動作可能なカメラ台数の上限

本プラグインは複数のリモートカメラに接続して、それぞれ追尾操作を行うことができますが、同時に Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能を動作させることのできるカメラ台数には制限があります。同時動作カメラ台数の上限は、以下の A、B のうち、より小さい方の値となります。

A：本プラグインの最大同時動作カメラ台数：8 台が上限となります。

B：ライセンスによる制限：ライセンスごとに定義された台数の総和となります。

AW-SF100 が、In trial（試用期間中）のとき：1 台

AW-SF200 が、In trial（試用期間中）のとき：7 台

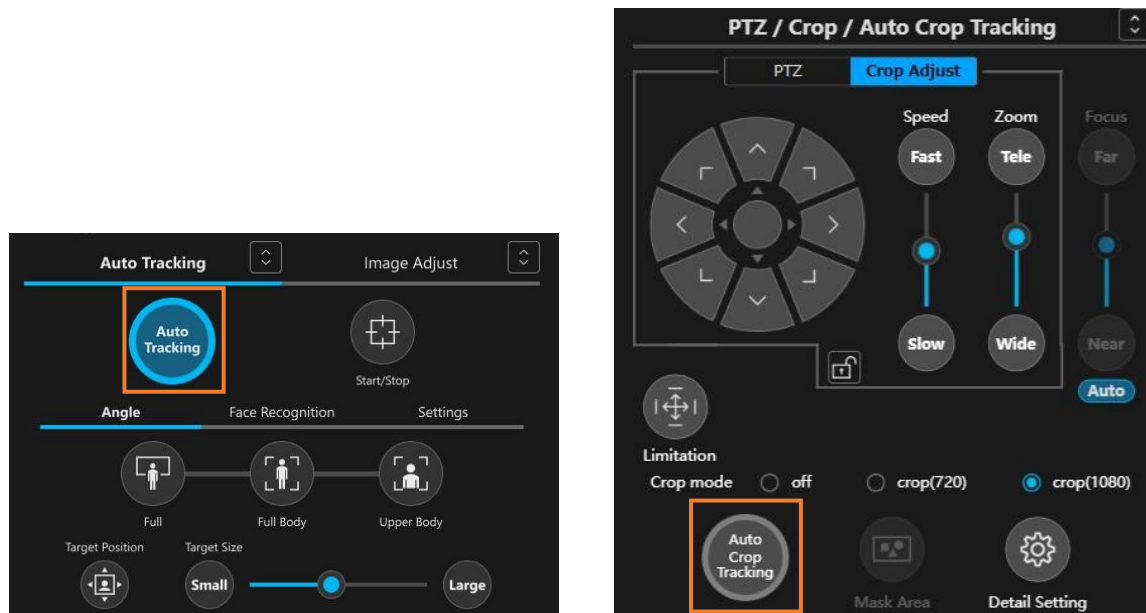
AW-SF100 がアクティベーション済のとき：1 台

AW-SF200 がアクティベーション済のとき：1 台

AW-SF202 がアクティベーション済のとき：2 台

AW-SF203 がアクティベーション済のとき：3 台

上限を超えて本機能の動作を行おうとした場合はエラーメッセージが表示されますので、動作中のカメラの[Auto Tracking]ボタン(Single Camera(PTZ)画面の左下図枠線部)または、[Auto Crop Tracking]ボタン(Single Camera(Crop)画面右下図枠線部)をクリックして、機能を無効化してください。



<NOTE>

- ・ライセンスの使用状態は PTZ Control 画面の Single Camera または Multiple Cameras 画面の右上部に”Used Auto Tracking Plugin Licenses : Y / X “ の形で表示されます。
左側の数値(Y)は、現状の Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の使用カメラ台数、右側の数値(X)は、Auto Tracking/Auto Crop Tracking 機能の最大使用カメラ台数（アクティベーション済のライセンス総数）を意味します。

ライセンスのディアクティベーションを行う

ライセンスを他の PC に移管したいときは、ライセンスのディアクティベーションを行って現在のインストール PC のライセンスを解除する必要があります。

ディアクティベーションの手順は Information 機能操作説明書の「有償プラグインの管理」→「ライセンスのディアクティベーションを行う」を参照してください。

ライセンス状態の確認

ライセンスの状態は Information 機能の画面で確認することができます。

手順は Information 機能操作説明書の「有償プラグインの管理」→「ライセンス状態の確認」を参照してください。

実行用データのインストール

有償ライセンス状態が[In Trial]もしくは[Activated]、かつ、本機能の実行用データが PC にインストールされていない場合、実行用データのインストールが必要です。

手順は Information 機能操作説明書の「有償プラグインの管理」→「実行用データのインストール」を参照してください。

実行用データのアップデート

有償ライセンス状態が[In Trial]もしくは[Activated]、かつ、現状インストールされている実行用データよりも新しいバージョンが Web サイト上に存在する場合、Information 画面から実行用データをアップデートすることができます。

手順は Information 機能操作説明書の「有償プラグインの管理」→「実行用データのアップデート」を参照してください。

PC ハードウェアの設定

PC ハードウェアの設定について

本機能を使用する前に、本ソフトウェアをインストールしている PC で以下の設定を行ってください。

- ・ PC のネットワーク接続
- ・ PC のネットワークアダプタの設定
- ・ PC の電源アダプタ接続（ラップトップ PC 限定）
- ・ PC の電源プラン設定（ラップトップ PC 限定）
- ・ NVIDIA 社製 GPU のインストール

PC のネットワーク接続

本プラグインを使用する場合、本ソフトウェアをインストールしている PC とリモートカメラ間是有線 LAN 接続を行うことを推奨します。無線 LAN 接続の場合、処理のパフォーマンスが低下して、追尾ターゲットをロストしやすくなるなどの症状が発生する場合があります。

PC のネットワークアダプタ設定

本プラグインを使用する場合、PC のネットワークアダプタの省電力関連の設定をオフまたは、無効にすることを推奨します。省電力設定された状態で使用する場合、カメラの映像が途切れるなどの症状が発生する場合があります、追尾性能に影響します。

設定は以下の手順で行います。

1. Windows のスタートメニューで「検索」を開いて、検索ボックスに“デバイスマネージャー”を入力します。
2. 検索結果にデバイスマネージャーが表示されるので、クリックしてデバイスマネージャーを開きます。
(Windows のスタートボタンを右クリックし、表示されたリストからデバイスマネージャーをクリックすることで、デバイスマネージャーを開くこともできます)
3. デバイスマネージャーのネットワークアダプタの項目をダブルクリックし、ネットワークアダプタのドロップダウンリストを展開します。
4. 本ソフトウェアで使用するネットワークアダプタ上で右クリックし、表示されたリストからプロパティをクリックし、ネットワークアダプタのプロパティ画面を開きます。
5. [詳細設定]タブをクリックし、下記項目の設定を変更します。
(1) プロパティの省電力イーサネットの値をオフに設定します。

(2) プロパティの低省電力モードの値を無効に設定します。

6. [OK]ボタンをクリックします。

PC の電源アダプター接続（ラップトップ PC 限定）

本ソフトウェアがインストールされている PC がラップトップ PC の場合、電源アダプターを使用することを推奨します。電源アダプターを使用せず、バッテリー駆動で使用する場合、処理のパフォーマンスが低下して、追尾ターゲットをロストしやすくなるなどの症状が発生する場合があります。

PC の電源プラン設定（ラップトップ PC 限定）

本ソフトウェアがインストールされている PC がラップトップ PC の場合、電源プランの設定を「高パフォーマンス」に変更することを推奨します。設定が「高パフォーマンス」以外の場合、処理のパフォーマンスが低下して、追尾ターゲットをロストしやすくなるなどの症状が発生する場合があります。

設定は以下の手順で行います。

1. Windows のスタートメニューで「検索」を開いて、検索ボックスに“コントロールパネル”を入力します。
2. 検索結果にコントロールパネルが表示されるので、クリックしてコントロールパネルを開きます。
3. コントロールパネルの表示方法を「大きいアイコン」に変更します。
4. 表示項目の中にある「電源オプション」をクリックします。
5. 「電源プランの選択またはカスタマイズ」の電源プランに「高パフォーマンス」が表示されている場合は、「高パフォーマンス」を選択します。

電源プランに「高パフォーマンス」が表示されていない場合は、以下の対応を行ってください。

(1) Windows タスクバーの Windows アイコンを右クリックして「ターミナル(管理者)」または「コマンドプロンプト(管理者)」を選択します。

(2) ターミナルまたはコマンドプロンプトの画面が開くので、以下のコマンドを実行します。

```
powercfg -setactive 8c5e7fda-e8bf-4a96-9a85-a6e23a8c635c
```

(3) 電源プランに「高パフォーマンス」が表示されるので、選択します。

NVIDIA 社製 GPU のインストール

本プラグインを使用する場合、本ソフトウェアをインストールしている PC に NVIDIA 社製 GPU が搭載されている必要があります。

NVIDIA 社製 GPU のドライバーは、NVIDIA 社の公式サイトからダウンロードできる最新のドライバー（Game Ready ドライバー）を使用してください。ドライバーのバージョンが古い場合、本機能の動作が正常に行われな場合があります。

<NOTE>

- ・ NVIDIA 社製 GPU の推奨機種は本書の「[動作環境](#)」を参照ください。
- ・ 本プラグインを使用するためには、NVIDIA 社の公式サイトから、PC にインストールされている GPU に合う最新の GPU ドライバのバージョンに更新する必要があります。

リモートカメラ本体の自動設定

自動設定項目

本ソフトウェアでは、自動的にリモートカメラ本体側の以下の設定が変更されます。

- ・JPEG 設定（カメラの Web 画面で、Setup->Video over IP -> JPEG の設定）

JPEG(1)

JPEG transmission : On

Image capture size : 1280x720 ※1/※2

Refresh interval : NTSC 時 : 30fps、PAL 時 : 25fps

Image quality : fine ※3

- ・Crop 設定 ※4

IP(H.264/H.265) OUT1 [FULL、CROP] : FULL

- ・映像出力ソースの設定 ※5

Output source(IP/NDI|HX) : 3G SDI2

<NOTE>

※1 : 以下の機種に関しては、JPEG(1)の Image capture size の設定は、640x360 になります。

AW-UE20, AW-HE20

※2 : 機種の設定(NDI Hx など)に応じて、JPEG(1) の Image capture size の設定は、640x360 になります。

※3 : 以下の機種に関しては、JPEG(1)の Image quality の設定は、normal になります。

AW-UE70/UN70/UE65/UE63, AW-HE75/HE68/HE42

※4 : Crop 機能を搭載する下記の機種のみ自動設定されます。

AW-UE160/UE163、AW-UE150A/UE158/UE148、**AW-UE150/**UE155/**UN145、

AW-UE100、AW-UR100 （2025 年 11 月現在）

※5 : 下記の機種かつ、UHD Crop Mode が[Crop(1080)]もしくは[Crop(720)]に設定されている時のみ自動設定されます。

AW-UE150A/UE158/UE148 （2025 年 11 月現在）

Auto Tracking 機能有効時の自動設定項目

本機能が有効になるとき、自動的にリモートカメラ本体側の以下の設定が変更されます。

以下の自動設定される項目により、Auto Tracking 機能の性能を最大限引き出すことができます。 ※5

- ・ Pan/Tilt の設定（カメラの Web 画面で、Setup -> System-> Pan/Tilt の設定）

Pan/Tilt Speed Mode : Normal ※6

Speed With Zoom Position : Off

- ・ Lens の設定（カメラの Web 画面で、Setup -> Lens の設定）

Zoom Mode : Opt Zoom

Digital Extender : Off

- ・ Built-In AutoTracking 機能（カメラの Web 画面で、Auto Tracking の設定） ※7

Auto Tracking : OFF

Tracking : Stop

Angle : OFF

<NOTE>

※5：自動追尾性能に問題がある場合は、カメラの Web 画面より FrameMix を OFF に設定してください。

FrameMix の設定はカメラ画質に大きく影響する項目なので自動では設定されませんが、

FrameMix を OFF に設定することにより自動追尾の性能を最大限引き出すことができます。

※6：以下の機種に関しては、Pan/Tilt Speed Mode の設定は、Quick になります。

AW-UE150/UE155/UN145、AW-HE145

※7：以下の機種に関しては、Built-In AutoTracking 機能をサポートしていないため、

カメラの Web 画面に Auto Tracking の項目はなく、設定もされません。

AW-UE160/UE163、AW-UE150/UE155/UN145、AW-UE100、AW-UR100、

AW-UE70/UN70/UE65/UE63、AW-HE145、AW-HE75/HE68/HE42、

AW-HE40/HN40/HE35/HE38/HN38/HE65/HN65/HE48/HE58/HE70/HN70、

AW-UE20、AW-HE20

(2025 年 6 月現在)

Auto Crop Tracking 機能有効時の自動設定項目

本機能が有効になるとき、自動的にリモートカメラ本体側の以下の設定が変更されます。

- ・ Built-In AutoTracking 機能（カメラの Web 画面で、Auto Tracking の設定） ※8

Auto Tracking : OFF

Tracking : Stop

Angle : OFF

<NOTE>

※8：以下の機種に関しては、Built-In AutoTracking 機能をサポートしていないため、カメラの Web 画面に Auto Tracking の項目はなく、設定もされません。

AW-UE160/UE163、AW-UE150/UE155/UN145、AW-UE100、AW-UR100、
AW-UE70/UN70/UE65/UE63、AW-HE145、AW-HE75/HE68/HE42、
AW-HE40/HN40/HE35/HE38/HN38/HE65/HN65/HE48/HE58/HE70/HN70、
AW-UE20、AW-HE20

(2025 年 6 月現在)

画面の説明

画面の説明

本プラグインで使用する画面は、以下の 4 つです。

- Device Manager 画面

リモートカメラを含むデバイスの追加、削除を行う画面です。

詳細は Device Manager 機能の操作説明書を参照ください。

- PTZ Control 画面

本プラグインにおけるメインの操作、監視、管理に関わる画面です。

この画面で、Auto Tracking/Auto Crop Tracking の開始/停止、アングルの設定、認証する顔の設定、各種詳細設定を行います。

- Information 画面

プラグインのライセンス管理、インストールを行う画面です。

詳細は本書の「[機能を使用するための手続き](#)」及び、Information 機能の操作説明書を参照ください。

- Setting 画面

顔認証用のデータ設定、本プラグインで使用する GPU や顔データの設定を行う画面です。

詳細は Setting 機能の操作説明書を参照ください。

Auto Tracking 操作

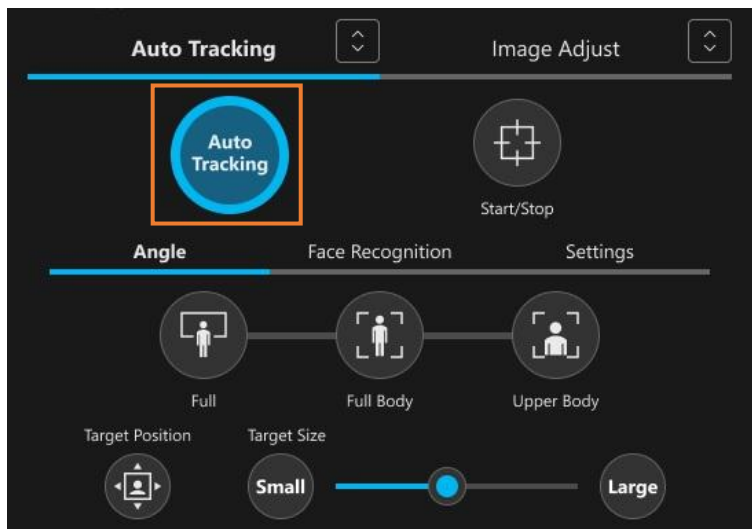
リモートカメラを登録する

本プラグインの機能を利用するためには、本ソフトウェアの Device Manager 機能の画面でパナソニック製リモートカメラの登録を行う必要があります。

登録手順の詳細は Device Manager 機能の操作説明書の「デバイスの登録」を参照ください。

これ以降の項目は、PTZ Control 画面内での Single Camera (PTZ)画面に対する操作の説明になりますが、Multiple Cameras でも同様の操作をすることが可能です。

Auto Tracking 機能の有効／無効化



リモートカメラを登録後、PTZ Control 画面の Single Camera 画面に移動します。

[Auto Tracking]タブ内にある[Auto Tracking]ボタンを左クリックすることにより、表示するリモートカメラに対する Auto Tracking 機能の有効/無効を設定することができます。 ※1 ※2

Auto Tracking 機能を有効にすることによって、カメラ映像内に人物が存在する場合、人物枠が表示されます。

1 つのリモートカメラに対して Auto Tracking 機能が有効になる毎に、Auto Tracking のライセンスが一つ使用され、PTZ Control 画面の右上の以下の表示が更新されます。

Used Auto Tracking Plugin Licenses 0 / 1

<NOTE>

※1：[Setting]タブの[Detail Setting]ボタンで表示されるウィンドウの tracking type の項目で「Built-In」が設定されている場合、もしくは、使用ライセンス数が本プラグインのアクティベーション済のライセンス総数を超える場合は、Built-In Auto Tracking が有効になります。

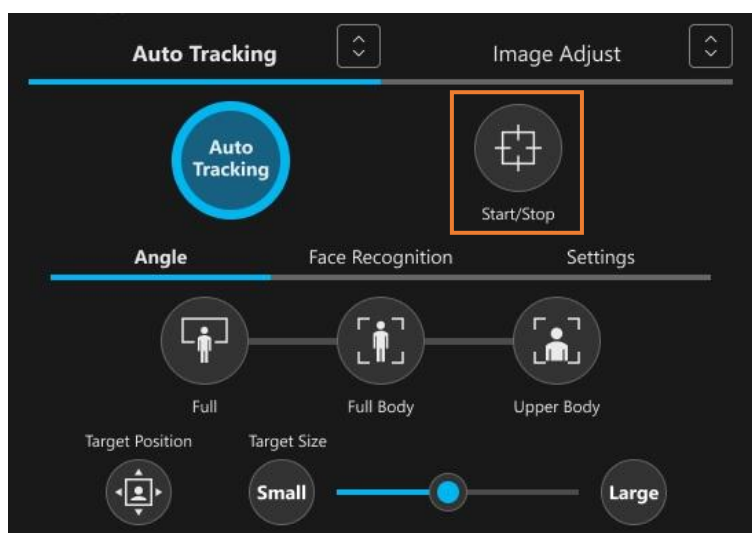
Built-In Auto Tracking が有効になる場合は、本プラグインのライセンスは使用されません。

※2：Built-In Auto Tracking の機能を有する機種は、以下になります。

AW-UE30/40/43/50/53/80/83/150A/158/148

これ以外の機種で、使用ライセンス数が本プラグインのアクティベーション済のライセンス総数を超える場合、[Auto Tracking]ボタンを左クリックすると、エラーメッセージが表示され、Auto Tracking 機能を有効にすることはできません。

Auto Tracking 動作の開始／停止を行う



カメラコントローラーAuto Tracking 操作部の[Start/Stop]ボタン（上図枠線部）で、Auto Tracking によるカメラ移動の開始／停止を操作できます。

追尾処理を停止するときは以下の操作を行います。

1. Detail Setting ウィンドウの Auto Tracking Start のチェック（✓）を外します。
2. [Tracking Start/Stop]ボタンを OFF 状態（グレー）にします。
3. 追尾処理が中止されます。

追尾対象の設定と追尾の開始

追尾対象を自動で検出して追尾を開始することができます。

追尾処理を開始すると、追尾対象の人体枠の色のみが青色に変わります。追尾対象以外の枠の色は黒色になります。

・自動で追尾対象を設定する場合

自動で追尾対象を設定するトリガーとして、以下が用意されています。

1. カメラ映像内で、人体を検出
2. 顔認証機能により、設定された人物の顔を検出

設定は以下の手順で行います。

・特定の人物を対象にする場合

- ①[Face Recognition]タブの[Select]ボタンをクリックして Select Face 画面を表示します。
- ②Select Face 画面で追尾対象とする人物の顔データを選択して [OK]ボタンをクリックし、Select Face 画面を閉じます。※1
- ③カメラ映像内で追尾対象の顔が検出されると、追尾処理を開始します。

・顔データベースに登録されている人物全員から追尾対象を検出する場合

- ①Auto Face Search にチェックを入れます。
- ②カメラ映像内に、顔データが登録されている人物のいずれかが検出されると、追尾処理を開始します。Settings – Face Recognition 画面での顔データ ID が小さいほど、検出の優先順位は高くなります。

3. オートスタートエリア機能により、設定した範囲に人物を検出

設定方法は、本書の「[オートスタートエリアの設定](#)」を参照ください。

上記いずれかのトリガーにより、追尾対象を自動で検出します。

この状態で[Tracking Start/Stop]ボタンを ON に設定すると、リモートカメラの Pan/Tilt 動作が有効になり、追尾動作を開始します。※2

・手動で追尾対象を設定する場合

手動で追尾対象を設定するトリガーとして、以下が用意されています。

1. カメラ映像内の人体枠の左クリック
2. カメラ映像内の顔枠の左ダブルクリックによる一時顔登録

左ダブルクリックした位置の顔データが顔認証の認証元として設定されます。

この顔データは保存されません。設定された顔データを解除したいときは、[Face Recognition] タブの[Clear]ボタンを左クリックしてください。

上記いずれかのトリガーにより、追尾対象を手動で検出できます。

この状態で[Tracking Start/Stop]ボタンを ON に設定すると、リモートカメラの Pan/Tilt 動作が有効になり、追尾動作を開始します。※2

<NOTE>

※1：顔認証機能の顔データ設定はカメラ毎に記憶されます。

※2：[Setting]タブの[Detail Setting]ボタンで表示されるウィンドウで Auto Tracking Start のチェック（✓）が ON になっている場合は、追尾対象が検出されると同時にリモートカメラの Pan/Tilt 動作も自動で有効になります。

追尾対象の変更

追尾動作中に追尾対象を変更したいときは、以下の操作を行います。

・顔認証機能を使用する場合

1. [Face Recognition] タブの[Select] ボタンを左クリックして Select Face 画面を表示します。
2. Select Face 画面で新しい追尾対象にしたい人物の顔データを選択して [OK] ボタンをクリックし、Select Face 画面を閉じます。
3. カメラ映像内に新しく追尾対象とした人物の顔が検出されると、検出した対象の追尾処理を開始します。

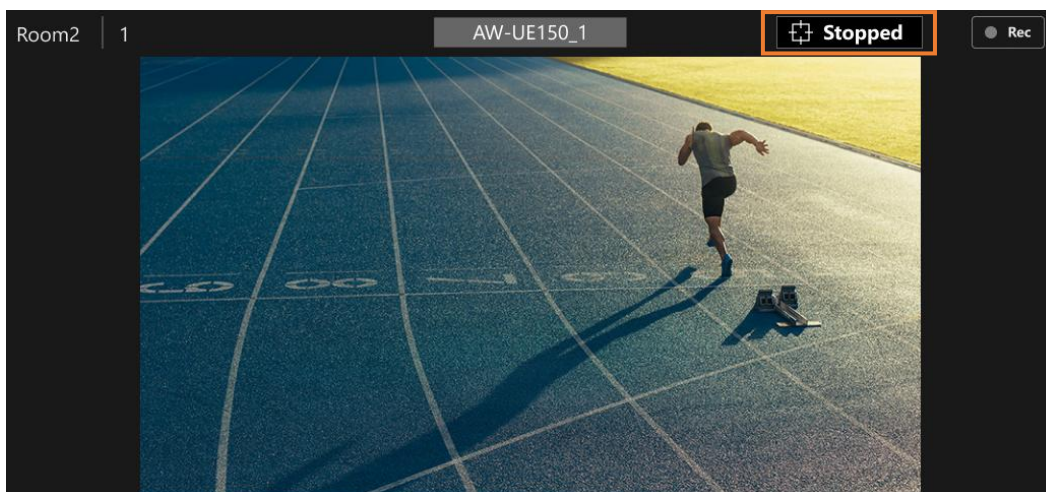
<NOTE>

- ・顔認証を設定している場合、設定している被写体のみを追尾対象とします。
 - ・カメラ映像内に人物の顔が検出されている場合に顔を左ダブルクリックすると、その顔データを顔認証の認証元として設定します。この顔データは保存されません。
 - ・設定された顔データを解除したい場合は、[Clear] ボタンをクリックします。
 - ・顔認証機能は被写体の顔が小さすぎる場合、正しく被写体を認識できないことがあります。
-
- ・顔認証機能を使用しない場合

カメラ映像内の検出された人体枠を左クリックします。

左クリックした位置にある人体枠を新しい追尾対象として、追尾処理を開始します。

Auto Tracking 中の追尾状態を確認する



Auto Tracking 中の追尾状態はカメラ映像エリアの右上に表示されます。

Tracking

被写体を検出して Auto Tracking が行われている状態

Lost

被写体を見失っており Auto Tracking が行われていない状態

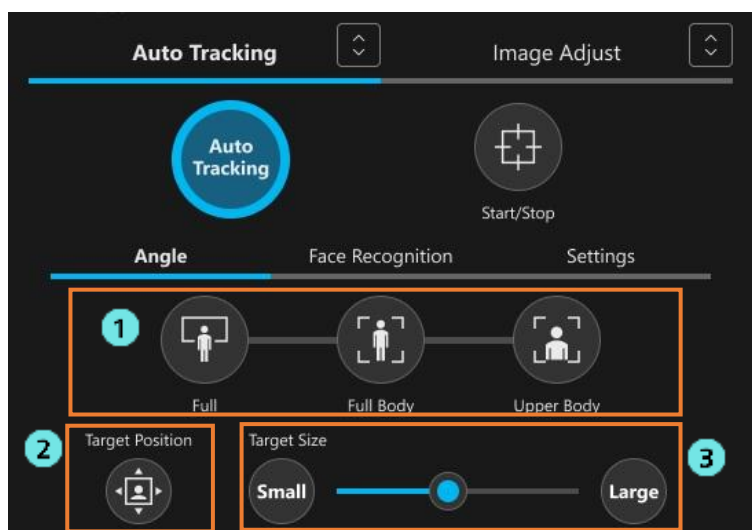
Stopped

Auto Tracking 機能が OFF になっている、もしくは被写体の指定がされていないことにより Auto Tracking が行われていない状態

<NOTE>

- ・ Device Manager 機能のデバイス一覧表示にも追尾状態は表示されます。

Auto Tracking 中のカメラアングルを設定する



カメラコントローラーAuto Tracking 操作部の[Angle]タブ内にある[Full]ボタン／[Full Body]ボタン／[Upper Body]ボタン（上図1）で、Auto Tracking 中のカメラアングルを設定できます。

[Upper Body]ボタンが ON 状態

被写体の上半身が画面に収まるようにアングルを自動調整します。

[Full Body]ボタンが ON 状態

被写体の全身が画面に収まるようにアングルを自動調整します。

[Full]ボタンが ON 状態

被写体とその背景が画面に収まるようにアングルを自動調整します。

すべてのボタンが OFF 状態

アングルの自動調整は行われません。Zoom 操作部でアングルを調整できます。

<NOTE>

- ・ [Full]／[Full Body]／[Upper Body]のいずれかのボタンが ON 状態になったタイミングで、カメラコントローラーAuto Tracking 操作部の[Start/Stop]は、自動で Auto Tracking によるカメラ移動の開始[Start]状態になります。

[Target Position]ボタン（上図2）及び、[Target Size]ボタン／スライダー（上図3）により、[Full]、[FullBody]、[UpperBody]の3種類のアングルそれぞれに対して、画角上の位置、サイズを自由に設定することができます。

[Target Position] ボタン

[Full]／[Full Body]／[Upper Body]のいずれかのボタンが ON 状態の場合、もしくは、すべてのボタンが OFF 状態の場合に、[Target Position]ボタンを ON 状態にすると、対象のアングルの追尾被写体の位置を調整することができます。

カメラ映像エリアをクリックすることにより、対象のアングルの追尾被写体の頭上の位置を意味する十字マーク（+）を調整できます。

<NOTE>

- ・ 追尾被写体の位置はアングルごとに保存されます。
ただし、すべてのアングルボタンが OFF 状態の場合は、保存されません。

[Target Size] ボタン／スライダー

[Full]／[Full Body]／[Upper Body]のいずれかのボタンが ON 状態の場合、[Target Size]エリアの [Small]ボタン、[Large]ボタン、横スライダーにて追尾被写体のサイズを調整できます。

<NOTE>

- ・ 追尾被写体のサイズはアングルごとに保存されます。

・ Target Position 設定の流れ

設定は以下の手順で行います。

1. [Angle]タブ内の設定したいアングルボタン（[Full]、[FullBody]、[UpperBody]）を左クリックします。※1
デフォルト位置に関して、追尾対象が以下の所定の位置にくるように Zoom を調整します。
何も設定されていない場合：初期位置、すでに設定したことがある場合：前回設定された位置
2. [Angle]タブ内の[Target Position]ボタンを左クリックします。※1
3. カメラ映像内に黒色の十字マークと、白色の枠が描画されます。
十字マークは追尾対象の頭上の位置を、白色の枠は追尾対象の頭上の位置の指定可能範囲を示します。
4. カメラ映像内を左クリックすることにより、追尾対象の画角内の位置を変更することができます。
この追尾対象位置はアングルごとに保存されます。

・ Target Size 設定の流れ

設定は以下の手順で行います。

1. [Angle]タブ内の設定したいアングルボタン（[Full]、[FullBody]、[UpperBody]）を左クリックします。※2
デフォルト位置に関して、追尾対象が以下の所定のサイズになるように Zoom を調整します。
何も設定されていない場合：初期サイズ、すでに設定したことがある場合：前回設定されたサイズ
2. [Angle]タブ内の[Target Size]ボタン（[Small]、[Large]）の左クリックまたは、[Target Size]スライダーのドラッグ&ドロップにより、追尾対象のサイズを変更することができます。
この追尾対象サイズはアングルごとに保存されます。

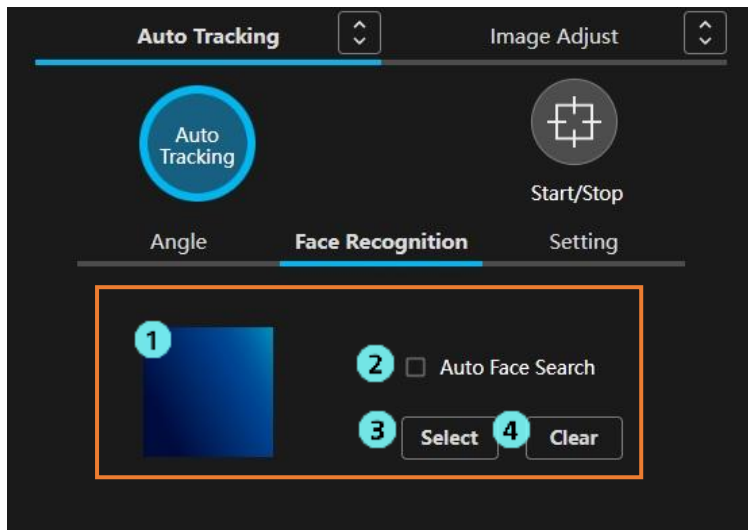
<NOTE>

※1：[Target Position]ボタンがON状態でかつ、アングルボタンがいずれもON状態でない場合は、カメラ映像内を左クリックすることで、現在の追尾対象の位置を変更することができます。

この時、[Tracking Start/Stop]ボタンを手動でONにする必要があります。

※2：アングル設定を行う場合は、画角内に人物が存在する必要があります。

Auto Tracking 中の顔認証機能の動作を設定する



1. 設定顔の表示

顔認証の認証元として設定されている人物の顔写真と名前が表示されます。

2. Auto Face Search チェックボックス

チェックを入れると、顔認証用に登録されている人物全員の顔とカメラ映像内で検出された顔との比較処理を行い、いずれかの人物が検出されたときはその人物を追尾処理の対象とします。

Auto Face Search が ON で追尾を行う場合、顔データの ID（表示順）が小さいほど、検出の優先順位が高くなります。

3. Select ボタン

Select Face ウィンドウを表示します。

Select Face ウィンドウでは、顔認証の認証元として使用する顔データの選択を行うことができます。

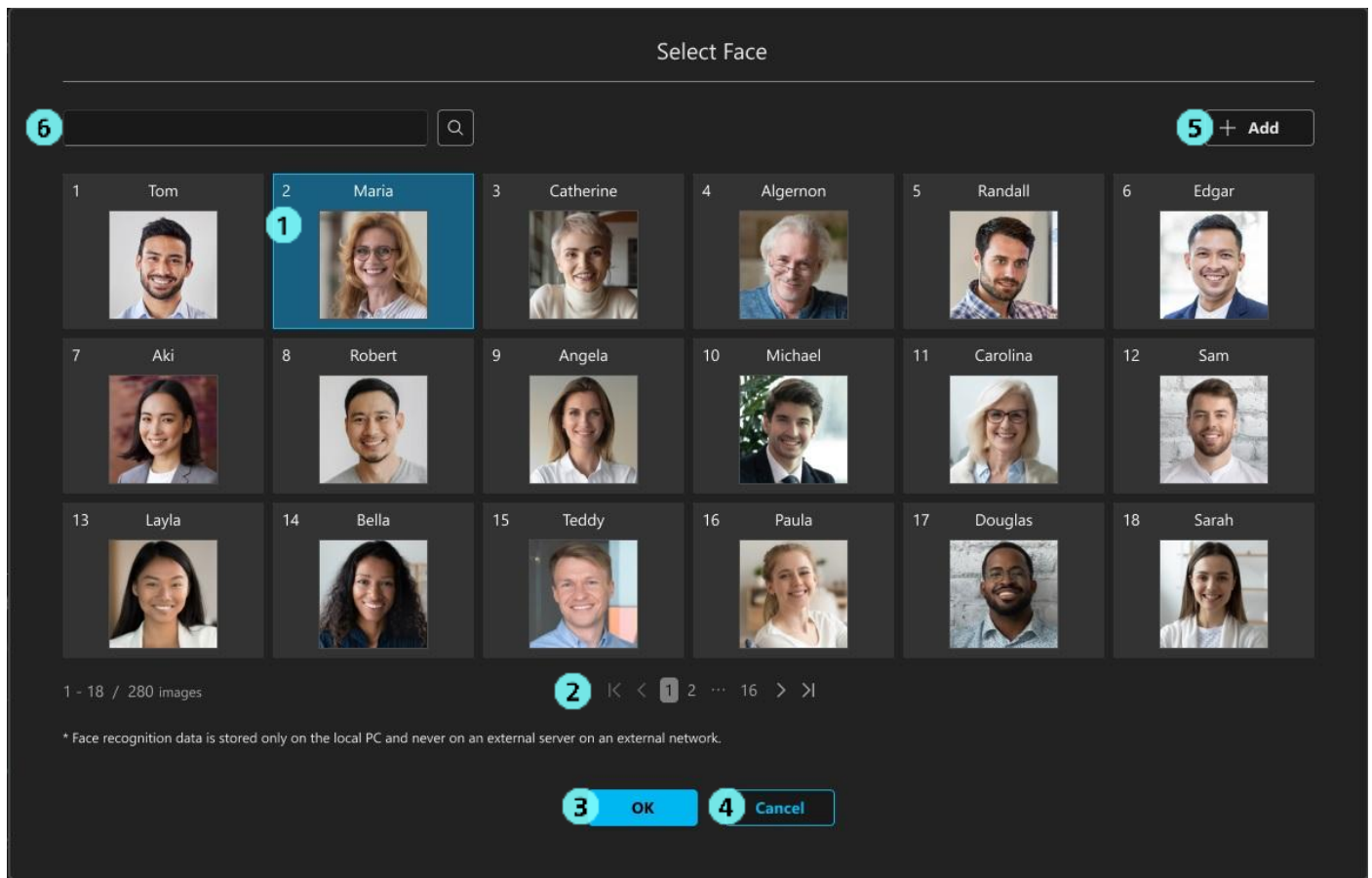
4. Clear ボタン

カメラに紐づく顔認証の認証元として設定されている顔データをクリアします。

<NOTE>

- ・顔認証を設定している場合、設定している被写体のみを追尾対象とします。
- ・カメラ映像内に人物の顔が検出されている場合に顔を左ダブルクリックすると、その顔データを顔認証の認証元として設定します。この顔データは保存されません。
- ・顔認証機能は被写体の顔が小さすぎる場合、正しく被写体を認識できないことがあります。

Auto Tracking 中の認証する顔データを選択する



Main 画面の Select ボタンをクリックすると上記の Select Face ウィンドウが表示されます。
本ウィンドウでは追尾対象とする人物の顔を設定することができます。

1. 顔データ一覧表示

登録されている顔データの一覧です。

顔データをクリックすることで選択／解除を行うことができます。選択されている顔データは背景が青色で表示されます。

2. ページ切り替えボタン

顔データ一覧表示のページを切り替えることができます。

3. OK ボタン

設定を有効にしてウィンドウを閉じます。

4. Cancel ボタン

設定をキャンセルしてウィンドウを閉じます。

5. Add ボタン

顔データ追加画面に移動します。

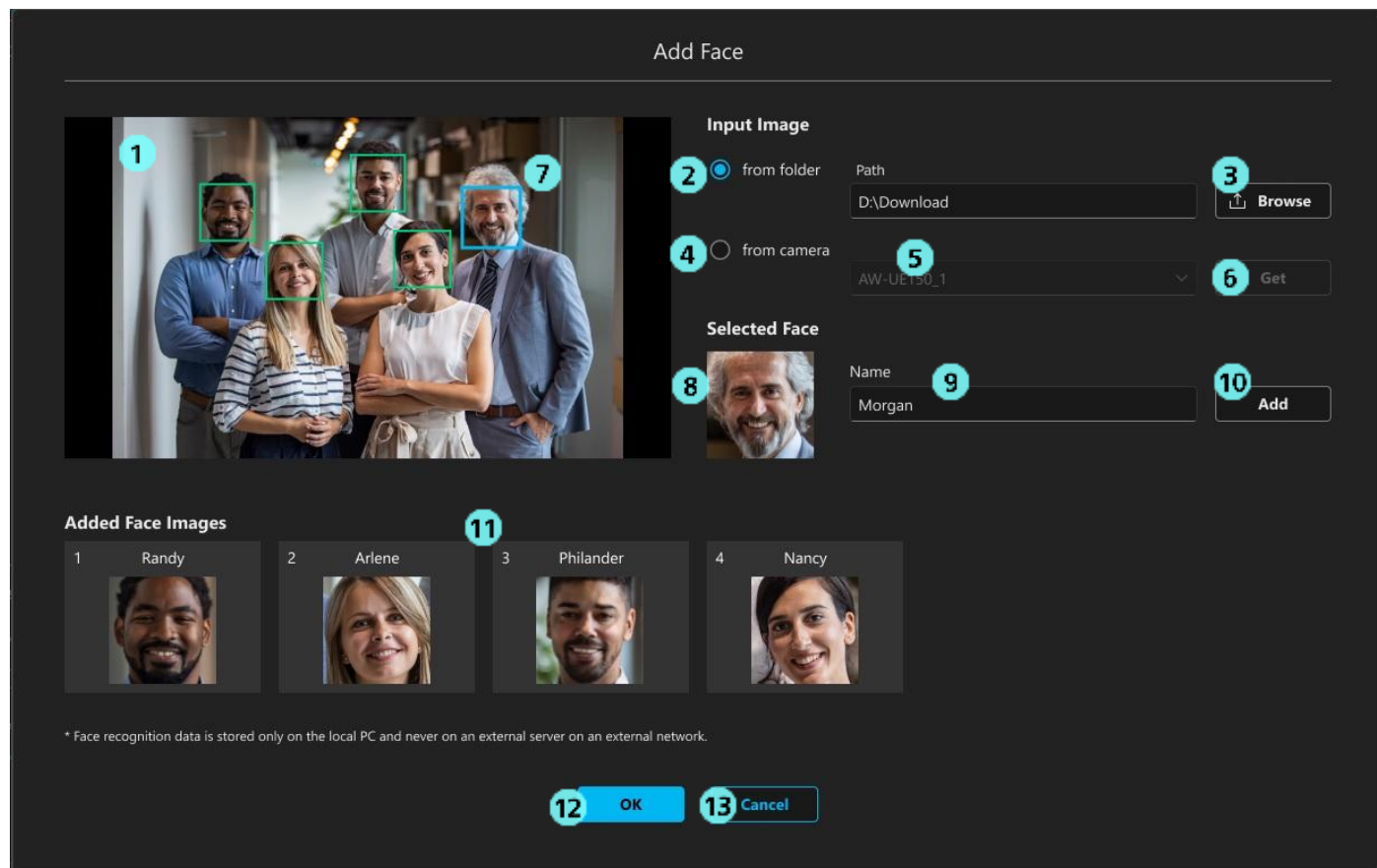
6. 顔データ検索ボックス

名前を入力することで、登録されている顔データを検索することができます。
検索結果は一覧表示に表示されます。

・顔データ選択の流れ

- a. [1. 顔データ一覧表示]から追尾対象とする人物の顔画像を左クリックし、選択状態にします。
- b. [3. OK ボタン]を左クリックすることで、選択状態の人物を追尾対象として選択できます。

認証する顔データを追加する



Select Face ウィンドウの Add ボタンをクリックすることで、Add Face ウィンドウが表示されます。
本ウィンドウから、新しい顔データを登録することができます。

1. 画像表示エリア

[Browse]ボタンまたは[Get]ボタンの操作によって読み込まれた画像が表示されます。

2. フォルダーボタン

本ソフトウェアをインストールしたデバイスから画像を選択する場合にクリックします。

3. Browse ボタン

クリックすると画像選択ダイアログが表示され、JPEG 画像を読み込むことができます。 ※1

4. カメラボタン

カメラの映像から顔を登録する場合にクリックします。

5. カメラ選択ボックス

映像をキャプチャする対象のカメラを選択します。 ※2

本機能動作中のカメラが一覧に表示されます。

6. Get ボタン

左クリックすると、カメラ選択ボックスで選択されたカメラの映像をキャプチャして読み込みます。

7. 顔検出表示枠

読み込まれた画像の中に顔が検出されると、顔の範囲に枠が表示されます。

枠をクリックするとその顔を対象として選択します。選択中の顔は青枠で表示されます。

8. 顔画像表示

選択されている顔の画像が表示されます。

9. 名前入力欄

選択されている顔の登録名を入力します。 ※3

10. Add ボタン

ボタンをクリックすると選択されている顔の画像と名前が登録されます。

11. 登録顔表示エリア

登録が完了した顔画像と名前が表示されます。

12. OK ボタン

設定を有効にしてウィンドウを閉じます。

13. Cancel ボタン

設定をキャンセルしてウィンドウを閉じます。

・顔データ追加の流れ

- a. 入力ソース画像を[2. フォルダーボタン]もしくは、[4. カメラボタン]から左クリックで選択します。
- b. (i) [2. フォルダーボタン]を選択した場合
[3. Browse ボタン]を左クリックし、PC に保存されている登録したい人物の顔が映っている JPEG 画像を 1 枚選択します。
(ii) [4. カメラボタン]を選択した場合
[5. カメラ選択ボックス]から登録したい人物の顔が映っているカメラを左クリックで選択し、
[6. Get ボタン]を左クリックします。
- c. [1. 画像表示エリア]に b で読み込まれた画像が表示され、その画像上に[7. 顔検出表示枠]が表示されます。※4
- d. [7. 顔検出表示枠]から、登録したい人物の顔を一つ左クリックし、選択状態にします。選択された顔枠のみ青色になり、その顔画像が、[8. 顔画像表示]に表示されます。
- e. 登録したい名前を[9. 名前入力欄]に入力します。
- f. [10. Add ボタン]を左クリックすると、[11. 登録顔表示エリア]に顔画像が表示されます。
- g. a~f の処理を繰り返し行うことで、[11. 登録顔表示エリア]に顔データが追加されます。
- h. [12. OK ボタン]を左クリックすることで、[11. 登録顔表示エリア]に表示されている全ての顔データが追加されます。

<NOTE>

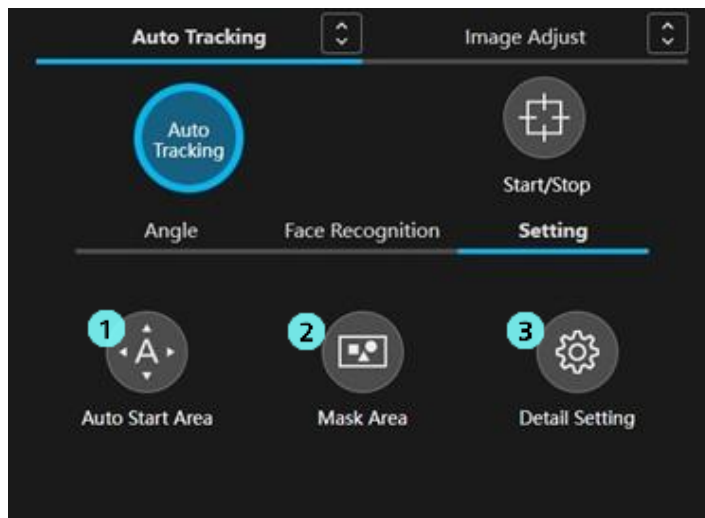
※1: JPEG 画像以外を読み込むことはできません。

※2: デフォルトは[Select]ボタンをクリックしたカメラが選択されています。

※3: 登録名にアルファベット、数字以外を使用すると、カメラ映像表示エリアに表示される登録名が??で表示されることがあります。

※4: [7. 顔検出表示枠]が表示されない場合は、登録したい人物が正面を向くように、人物の顔が大きく見えるように調整してください。

Auto Tracking のオプション機能を設定する



1. Auto Start Area ボタン

Auto Start Area を有効化できます。ボタンが押されるとカメラが Detail Setting ウィンドウで設定されるイニシャルポジションに移動します。

カメラ映像を左クリック&ドラッグにより、人体が検出されると自動で追尾を開始するエリアの設定を行うことができます。

2. マスク領域設定ボタン

追尾対象を検出するときのマスク領域（カメラ映像の中で検出に使用しない領域）を設定します。映像画面で左クリック&ドラッグにより設定します。

設定された領域には、黒色の矩形が表示されます。矩形内の×ボタンを押すことにより設定を解除することができます。

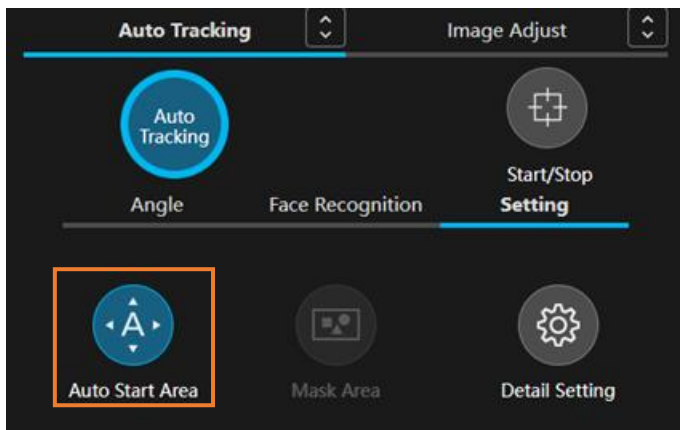
3. Detail Setting ボタン

クリックすると Detail Setting ウィンドウが開きます。

本ウィンドウでは追尾動作に関する設定を行うことができます。

詳細は本書の「[詳細設定](#)」を参照ください。

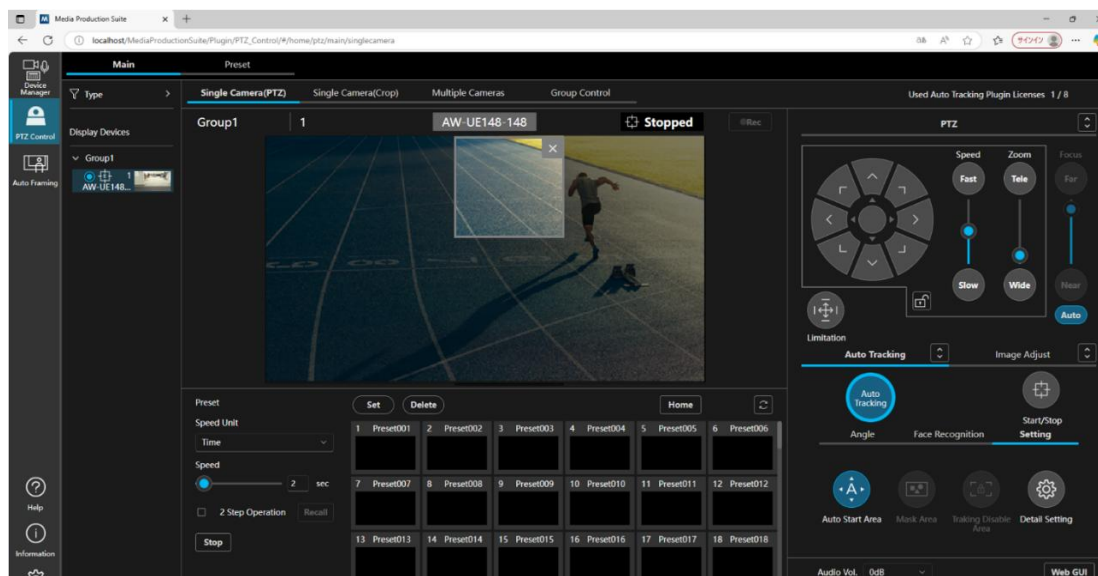
オートスタートエリアの設定



追尾対象の自動設定および、Pan/Tilt 動作を自動的に有効化するエリアの設定を行うことができます。設定したエリア内で人体枠が検出されると、その人体枠を追尾対象として、追尾が開始されます。設定は以下の手順で行います。

1. [Setting]タブの[Auto Start Area]（上図枠線部）ボタンを左クリックします。
2. Detail Setting ウィンドウの Initial position を設定している場合は、自動で Initial position のプリセットをロードします。Initial position を設定していない場合は、プリセットはロードされません。
3. カメラ映像上で左クリックした後にドラッグすると、グレイアウトなしの領域が表示されます。マウスのドラッグを終了すると、設定が完了します。
4. オートスタートエリア枠の指定を解除するときは、枠の右上のXボタンを左クリックします。オートスタートエリア枠を移動したい時は、作成した枠内で左クリックした後にドラッグすると、枠の位置を調整できます。オートスタートエリア枠のサイズを変更したい時は、作成した枠の角または辺の上で、左クリックした後にドラッグすると、枠のサイズを調整できます。
5. Detail Setting ウィンドウの Initial position を設定している場合は、[Auto Start Area]で追尾がスタートした後に、追尾対象をロストすると、自動で Initial position のプリセットをロードし、[Auto Start Area]が再度有効になります。

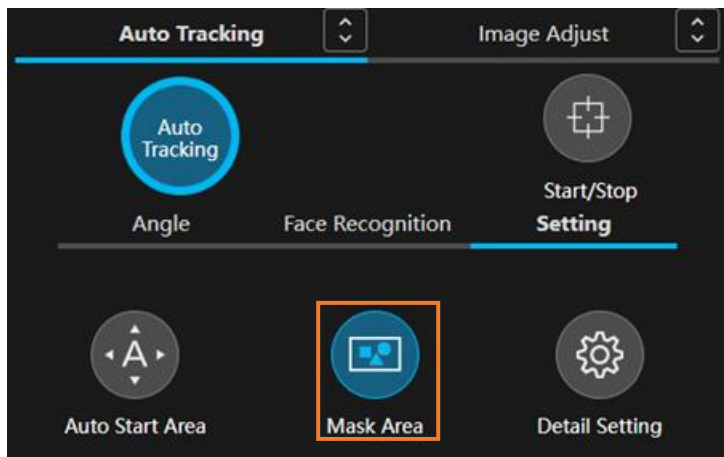
Initial position を設定していない場合は、プリセットはロードされず、[Auto Start Area]も有効になりません。



<NOTE>

- ・オートスタートエリアと顔認証機能が同時に有効である場合、追尾対象顔として選択されている被写体がオートスタートエリアの枠内に入った時のみ追尾をスタートします。
- 追尾対象顔以外の人、オートスタートエリアの枠内に入っても追尾はスタートしません。

マスクエリアの設定



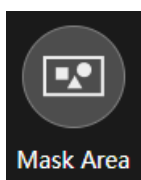
追尾対象を検出するときのマスク領域（カメラ映像内で検出時に使用しない領域）を設定することができます。設定は以下の手順で行います。

1. [Setting]タブの[Mask Area]ボタン（上図枠線部）を左クリックします。
2. カメラ映像上で左クリックした後にドラッグすると、グレイアウトの領域が表示されます。
ドラッグを終了すると、設定が完了します。マスクエリア枠は最大 10 枠まで作成可能です。
3. マスクエリア枠の指定を解除するときは、枠の右上の X ボタンを左クリックします。
4. マスクエリア枠を移動したい時は、作成した枠内で左クリックした後にドラッグすると、枠の位置を調整できます。

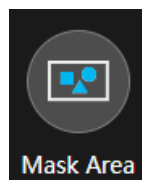
マスクエリア枠のサイズを変更したい時は、作成した枠の角または辺の上で、左クリックした後にドラッグすると、枠のサイズを調整できます。

5. [Mask Area]ボタンを OFF にして、設定を終了します。

この時、マスクエリア枠が 1 個以上設定されている場合は、[Mask Area]ボタンのアイコンが以下のように更新されます。

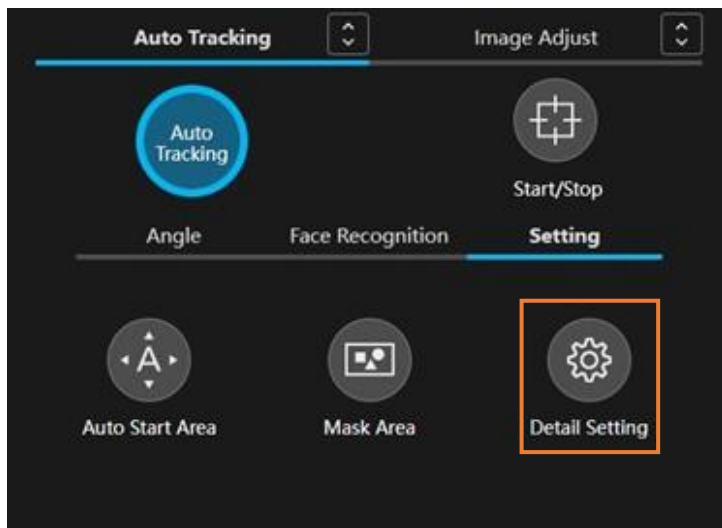


マスクエリア枠
設定数：0

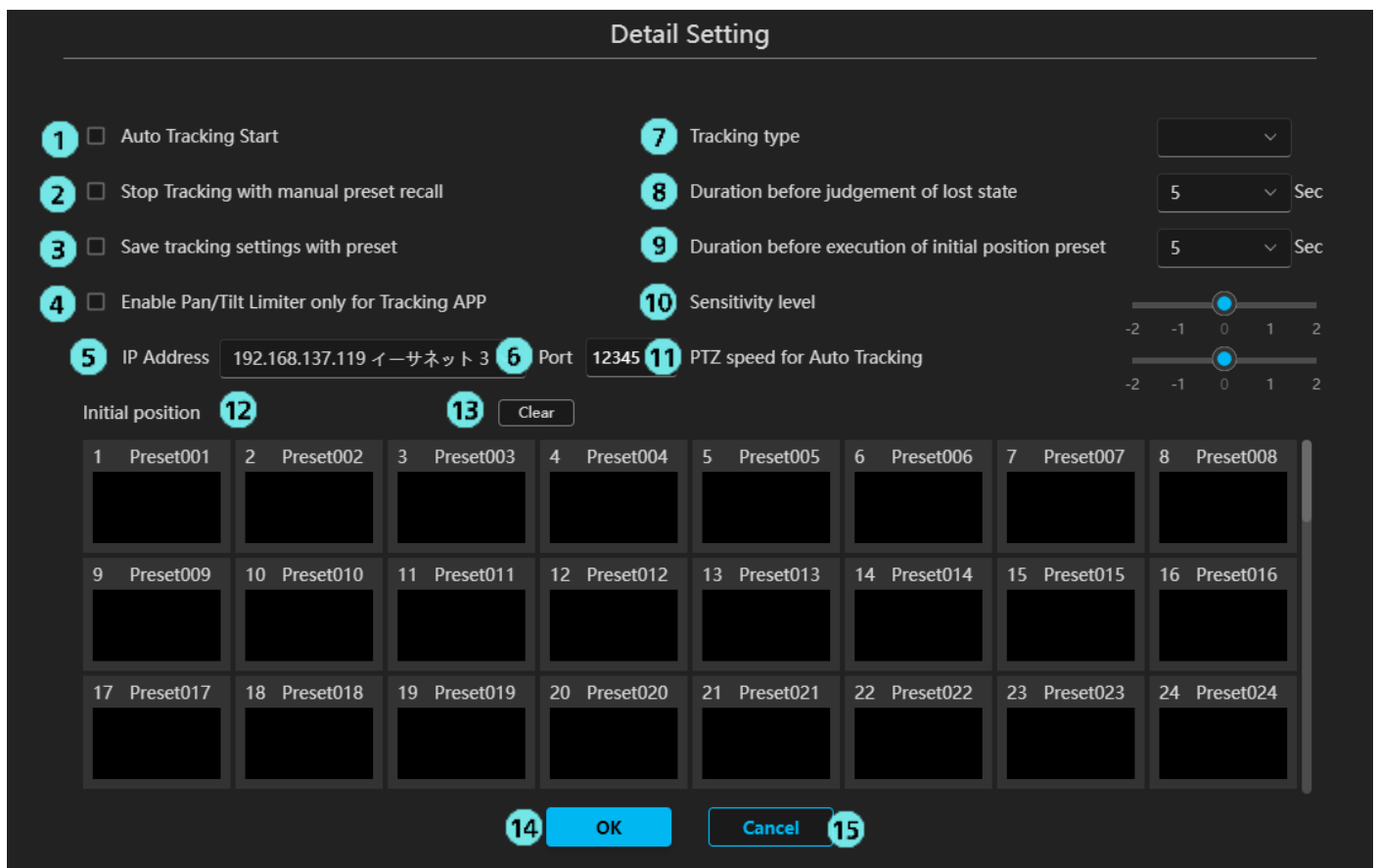


マスクエリア枠
設定数：1 個以上

詳細設定



[Setting]タブの[Detail Setting]ボタン（上図枠線部）を左クリックすると、以下の Detail Setting ウィンドウが表示されます。そのウィンドウから、Auto Tracking 機能の詳細設定をすることができます。



1. Auto Tracking Start

追尾対象を検出したときの動作を設定します。

チェックが ON のときは、追尾対象が検出されると自動でカメラの追尾動作を開始します。

2. Stop Tracking with manual preset recall

プリセットを呼び出したときの動作を設定します。

チェックが ON のときは、プリセットの呼び出しを行ったときに追尾動作を停止します。

3. Save tracking settings with preset

プリセットを呼び出したときに追尾動作を設定します。

Auto Tracking が ON のときかつ、本項目のチェックが ON のとき、下記項目の追尾動作設定をプリセット毎に保存します。Auto Tracking が ON のときかつ、本項目のチェックが ON のとき、そのプリセットが呼び出されると、追尾動作設定もプリセット保存時のものが呼び出されて更新されます。

MAIN 画面の項目

- ・ Tracking Start/Stop
- ・ Target Position (Full, Full Body, Upper Body)
- ・ Target Size (Full, Full Body, Upper Body)
- ・ Angle (Full, Full Body, Upper Body, OFF のいずれか)
- ・ Face Recognition Target Face
- ・ Face Recognition Auto Face Search
- ・ Auto Start Area
- ・ Mask Area

Detail Setting の項目

- ・ Auto Tracking Start
- ・ Stop Tracking with manual preset recall
- ・ Save tracking settings with preset
- ・ Enable Pan/Tilt Limiter only for Tracking APP (IP address, Port を含む)
- ・ Initial Position
- ・ Tracking type
- ・ Duration before judgement of lost state
- ・ Duration before execution of initial position preset
- ・ Sensitivity Level
- ・ PTZ speed for Auto Tracking

4. Enable Pan/Tilt Limiter only for Tracking APP

Pan/Tilt Limitation機能は、本プラグイン機能が動作している時のみで有効になります。

設定方法は、PTZ Control機能の操作説明書の「Pan/Tiltの可動範囲を設定する」を参照ください。

Port No.はPan/Tiltの位置データ取得に使用され、カメラ本体に対して下記の設定を自動的に行います。

(1) Enable Pan/Tilt Limiter only for Tracking APPをONにした時

リモカメ本体側WebブラウザSetup画面内のTracking Data Output 項目に属する IP (UDP) をONにして、IP out の Client4 のIP address と Port を設定します。

(2) Enable Pan/Tilt Limiter only for Tracking APPをOFFにした時

リモカメ本体側WebブラウザSetup画面内のTacking Data Output 項目に属する IP out の Client4を無効にし、もし、Client1~ Client 3が無効になっていれば、IP (UDP) をOFFにします。

※本機能を有効にできる対応機種は、AW-UE80/83, AW-UE100, AW-UE150/155, AW-UN145, AW-HE145, AW-UE150A/158/148, AW-UE160/163, AW-UR100 です。

5. IP address

4. Enable Pan/Tilt Limiter only for Tracking APP で使用するネットワークの IP アドレスをドロップダウンリストから選択します。

6. Port

4. Enable Pan/Tilt Limiter only for Tracking APP で使用する UDP ポート番号を入力します。
(10000 ~ 65535 の範囲で設定可能です)

他のカメラと同じポート番号を設定することはできません。

7. Tracking type

Auto Tracking 機能のタイプを指定することができます。

ドロップダウンリストから、「PC_GPU」もしくは、「Built-In」を選択可能です。

「Built-In」が選択可能なのは、Built-In Auto Tracking の対応機種のみです。

※Built-In Auto Tracking 対応機種は、AW-UE30/40/43/50/53/80/83/
150A/158/148 です。

8. Duration before judgement of lost state

追尾対象が検出されなくなってから、ロストと判定するまでの時間（秒数）を設定します。

1~30 の範囲で設定可能です。

9. Duration before execution of initial position preset

追尾対象がロストしてからカメラの位置をプリセット位置に戻すまでの時間（秒数）を設定します。

0~30 の範囲で設定可能です。

プリセット位置の登録は 12. Initial Position 画面で選択します。

10. Sensitivity Level

追尾対象の動きに対するカメラの追尾動作の感度を、-2~0~2 の範囲で設定します。

値が大きいほど、感度が高くなります。

11. PTZ speed for Auto Tracking

追尾対象に追従するカメラのスピードを、-2~0~2 の範囲で設定します。

値が大きいほど、スピードが速くなります。

12. Initial Position 選択画面

追尾対象をロストした際にどのプリセットに移動させるかを選択します。

13. Clear ボタン

12. Initial Position 選択画面で選択したプリセットをキャンセルします。

14. OK ボタン

設定を有効にしてウィンドウを閉じます。

15. Cancel ボタン

設定をキャンセルしてウィンドウを閉じます。

Auto Crop Tracking 操作

事前準備

本プラグインの Auto Crop Tracking 機能を利用するためには、下記の流れで事前準備が必要です。

1. 本ソフトウェアの Device Manager 機能の画面で Crop 機能に対応したパナソニック製リモートカメラの登録を行う。登録手順の詳細は Device Manager 機能の操作説明書の「デバイスの登録」を参照してください。※1 ※2
2. Device Manager 機能の画面で、登録したカメラのシステムフォーマットを UHD(3840x2160)に変更する。※3
3. Single Camera (Crop) 画面において、UHD Crop Mode を[Crop(1080)]または、[Crop(720)]に設定する。(下図枠線部)



<NOTE>

※1: 本ソフトウェアの起動時に、リモートカメラの IP(H.264/H.265) OUT1 [FULL、CROP]の設定が FULL に自動設定されます。本ソフトウェアの機能を正常に使用するためには、ソフトウェアの使用中は本設定を FULL から変更しないようにお願いします。

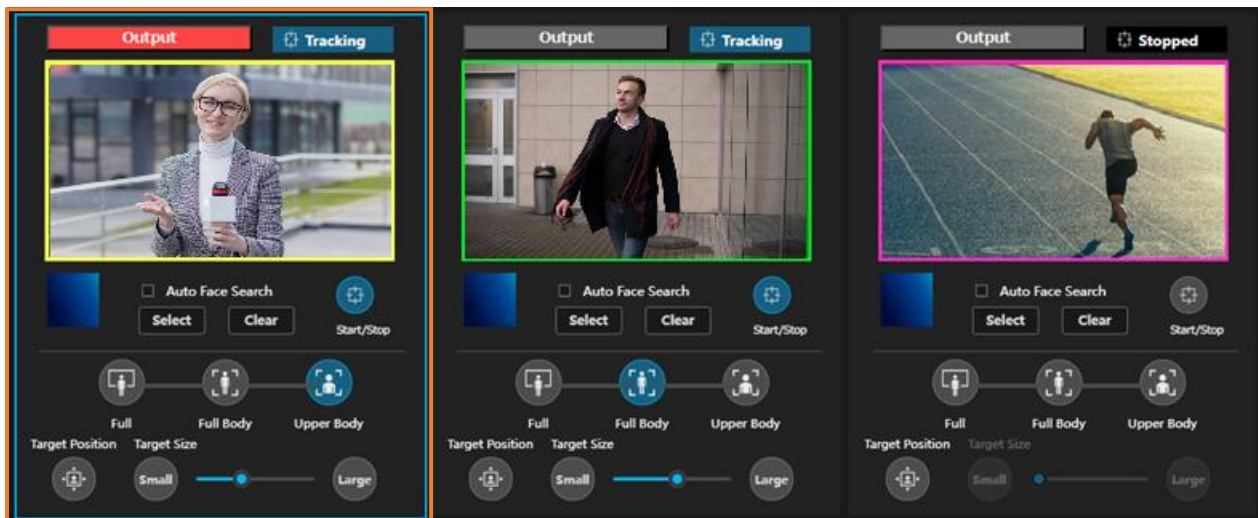
※2: 本ソフトウェアの動作中に、UHD Crop Mode が[Crop(1080)]もしくは[Crop(720)]に設定されている場合、下記の機種のみ Output source の設定が 3G SDI2 に自動設定されます。本ソフトウェアの機能を正常に使用するためには、UHD Crop Mode が[Crop(1080)]もしくは[Crop(720)]でソフトウェアを使用中は本設定を 3G SDI2 から変更しないようにお願いします。

AW-UE150A/UE158/UE148 (2025 年 11 月現在)

※3：システムフォーマットによって、下記の通り設定可能な UHD Crop Mode が異なります。

- ・ UHD Crop Mode：[Off]、[Crop(1080)]、[Crop(720)]に設定可能
対応システムフォーマット：[2160/59.94p]、[2160/50p]
- ・ UHD Crop Mode：[Off]、[Crop(1080)]に設定可能
対応システムフォーマット：[2160/60p]、[2160/29.97p]、[2160/25p]、[2160/24p]、[2160/23.98p]

CropAdjust 枠を設定する



位置調整や Auto Crop Tracking 機能の操作対象(Crop Adjust)枠（上図枠線部）の選択を行います。

CropAdjust 枠が操作対象となる機能は下記です。

- ・ [位置、サイズ調整] Crop 枠の H(水平方向)/V(垂直方向)の位置、Zoom 制御
- ・ [Crop プリセット] Crop プリセット動作
- ・ [Auto Crop Tracking 機能] Full 映像上の人体枠を左クリックすることによる追尾対象の設定、変更
- ・ [Auto Crop Tracking 機能] Full 映像上の顔枠の左ダブルクリックによる一時顔登録

CropAdjust は、Crop エリアの各種ボタン(Output ボタン、Select ボタン、Clear ボタン、Angle ボタン、TargetPosition ボタン、TargetSize ボタン/スライダー)以外の部分を左クリックすることにより、左クリックした Crop エリアの枠に遷移します

Crop 機能の設定を行う

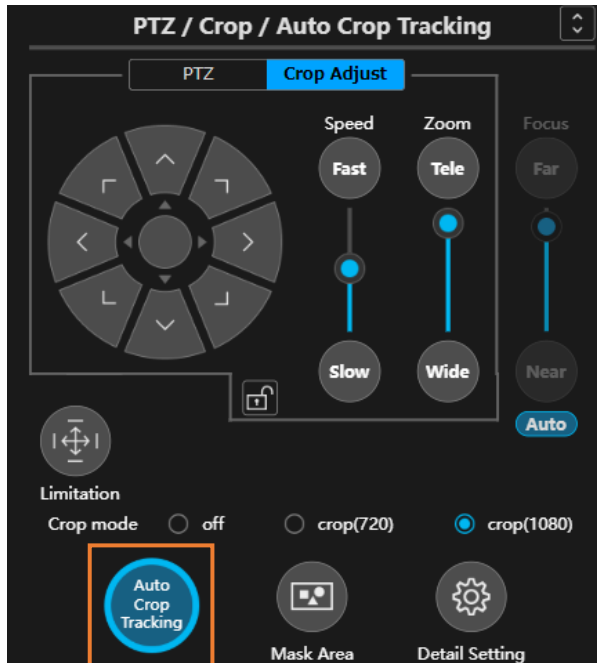
Crop 関連機能の設定については、PTZ Control 機能の操作説明書の「Crop 機能の設定を行う」を参照してください。

カメラの制御／操作を行う

Crop 枠の位置/サイズの操作や、カメラ映像出力の切り替えについては、PTZ Control 機能の操作説明書の「カメラの制御／操作を行う」を参照してください。

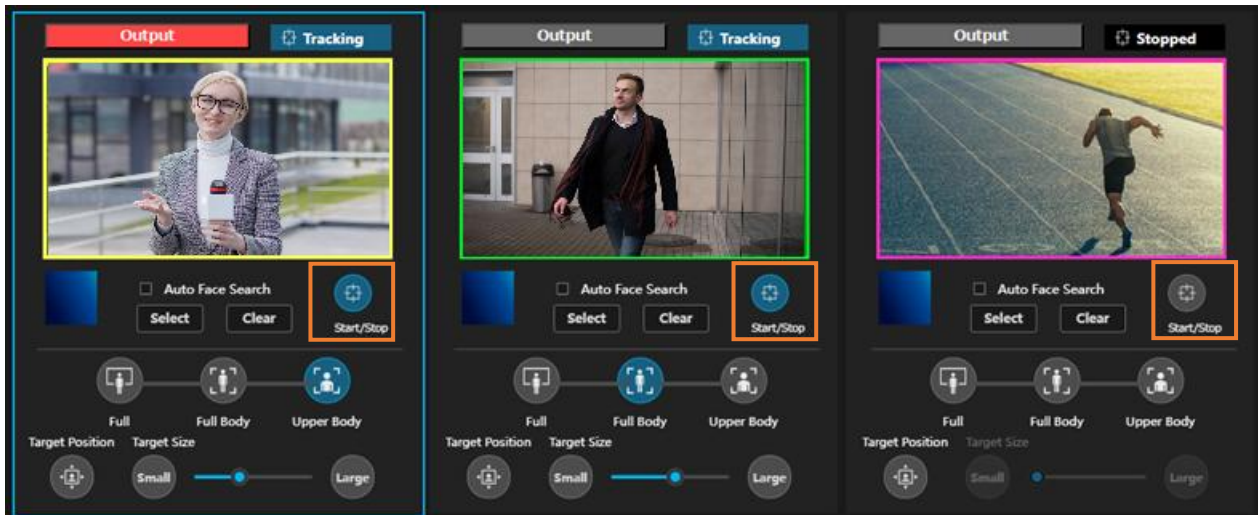
Auto Crop Tracking 機能の有効／無効化

PTZ Control 画面の Single Camera (Crop)画面の[Auto Crop Tracking]ボタン(下図枠線部)を左クリックすることにより、表示するリモートカメラに対する Auto Crop Tracking 機能の有効/無効を設定することができます。Auto Crop Tracking 機能を有効にすることによって、Full 映像内に人物が存在する場合、人物枠が表示されます。1 つのリモートカメラに対して Auto Crop Tracking 機能が有効になる毎に、Auto Tracking プラグインのライセンスが一つ使用され、PTZ Control 画面の右上の表示が更新されます。



Used Auto Tracking Plugin Licenses 0 / 1

Auto Crop Tracking 動作の開始／停止を行う



Auto Crop Tracking 操作エリアの [Tracking Start/Stop] ボタン（上図枠線部）で、Auto Crop Tracking による Crop 枠移動の開始／停止を操作できます。

追尾処理（Crop 枠の自動制御動作）を停止するときには以下の操作を行います。

1. Detail Setting ウィンドウにおいて、停止したい Crop 枠の Auto Crop Tracking Start のチェック（✓）を外します。
2. 該当 Crop 枠の [Tracking Start/Stop] ボタンを OFF 状態（グレー）にします。
3. 該当 Crop 枠の追尾処理が中止されます。

追尾対象の設定と追尾の開始

Crop 枠ごとに追尾対象を自動で検出して追尾を開始することができます。

追尾処理を開始すると、追尾対象の人体枠のみが青色になり、各 Crop 枠に対応した色のタグが付きます。

追尾対象以外の人体枠の色は黒色になります。

・自動で追尾対象を設定する場合

自動で追尾対象を設定するトリガーとして、以下が用意されています。

1. Full 映像内で、人体を検出

各 Crop 枠では異なる人体を追尾対象として設定します。ただし、画角に写る人体が 2 人以下の場合、一部の Crop 枠は重複した人体を追尾対象として設定します。

2. 顔認証機能により、設定された人物の顔を検出

設定は以下の手順で行います。顔認証機能は、Crop 枠ごとに設定をすることができます。

・特定の人物を対象にする場合

①[Face Recognition]エリアの[Select]ボタンをクリックして Select Face 画面を表示します。

②Select Face 画面で追尾対象とする人物の顔データを選択して [OK]ボタンをクリックし、Select Face 画面を閉じます。※1

③Full 映像内で追尾対象の顔が検出されると、追尾処理を開始します。

・顔データベースに登録されている人物全員から追尾対象を検出する場合

①Auto Face Search にチェックを入れます。

②Full 映像内に、顔データが登録されている人物のいずれかが検出されると、追尾処理を開始します。Settings – Face Recognition 画面での顔データ ID が小さいほど、検出の優先順位は高くなります。ただし、他の Crop 枠ですでに設定されている顔データ ID は除外されます。もし、同じ顔を複数の Crop 枠で重複して追尾したい場合は、同じ人物の顔を 2 個以上登録してください。

上記いずれかのトリガーにより、追尾対象を自動で検出します。

この状態で[Tracking Start/Stop]ボタンを ON に設定すると、リモートカメラの Crop 枠制御動作が有効になり、追尾動作を開始します。※2

・手動で追尾対象を設定する場合

CropAdjust 枠において手動で追尾対象を設定するトリガーとして、以下が用意されています。

1. Full 映像内の人体枠の左クリック

2. Full 映像内の顔枠の左ダブルクリックによる一時顔登録

左ダブルクリックした位置の顔データが顔認証の認証元として設定されます。

この顔データは保存されません。設定された顔データを解除したいときは、[Face Recognition]エリアの[Clear]ボタンを左クリックしてください。

上記いずれかのトリガーにより、追尾対象を手動で検出できます。

この状態で[Tracking Start/Stop]ボタンを ON に設定すると、リモートカメラの Crop 枠制御動作が有効になり、追尾動作を開始します。※2

<NOTE>

※1：顔認証機能の顔データ設定はカメラ毎、Crop 枠毎に記憶されます。

※2：[Detail Setting]ボタンで表示されるウィンドウで Auto Crop Tracking Start のチェック（✓）が ON になっている Crop 枠は、追尾対象が検出されると同時にリモートカメラの Crop 枠制御動作が自動で有効になります。

追尾対象の変更

追尾動作中に追尾対象を変更したいときは、変更したい Crop 枠に対して以下の操作を行います。

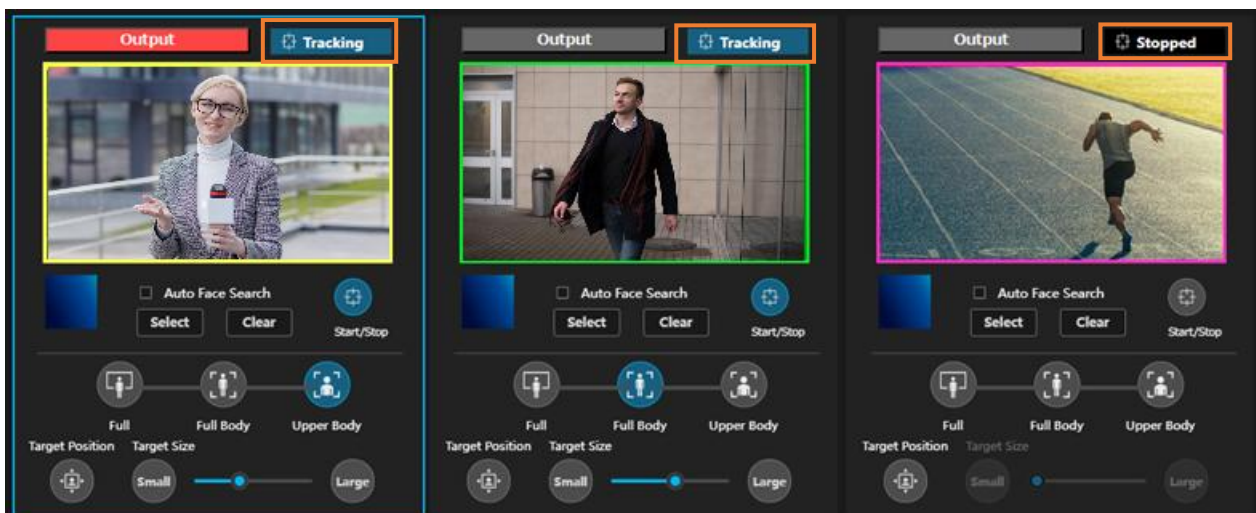
・顔認証機能を使用する場合

1. [Face Recognition]エリアの[Select]ボタンを左クリックして Select Face 画面を表示します。
2. Select Face 画面で新しい追尾対象にしたい人物の顔データを選択して [OK]ボタンをクリックし、Select Face 画面を閉じます。
3. カメラの Full 映像内に新しく追尾対象とした人物の顔が検出されると、検出した対象の追尾処理を開始します。

<NOTE>

- ・顔認証を設定している場合、設定している被写体のみを追尾対象とします。
 - ・Full 映像映像内に人物の顔が検出されている場合に顔を左ダブルクリックすると、その顔データを CropAdjust 枠の顔認証の認証元として設定します。この顔データは保存されません。
 - ・設定された顔データを解除したい場合は、[Clear]ボタンをクリックします。
 - ・顔認証機能は被写体の顔が小さすぎる場合、正しく被写体を認識できないことがあります。
-
- ・顔認証機能を使用しない場合
 - 1. CropAdjust 枠を追尾対象を変更したい Crop 枠に設定します。
 - 2. Full 映像内の検出された人体枠を左クリックします。
 - 3. 左クリックした位置にある人体枠を新しい追尾対象として、追尾処理を開始します。

Auto Crop Tracking 中の追尾状態を確認する



Crop 枠ごとに、Auto Crop Tracking 中の追尾状態が Crop 映像エリアの右上（上図枠線部）に表示されます。

Tracking

被写体を検出して Auto Crop Tracking が行われている状態

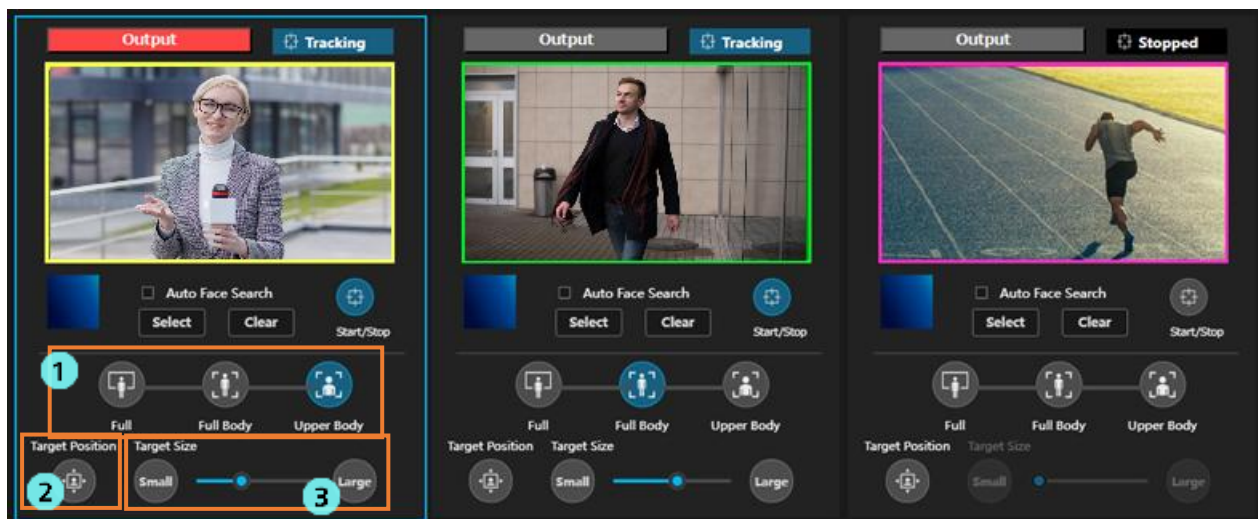
Lost

被写体を見失っており Auto Crop Tracking が行われていない状態

Stopped

Auto Crop Tracking 機能が OFF になっている、もしくは被写体の指定がされていないことにより Auto Crop Tracking が行われていない状態

Auto Crop Tracking 中の Crop 枠の角度を設定する



- 1) Auto Crop Tracking 操作エリアの[Full]ボタン／[Full Body]ボタン／[Upper Body]ボタン（上図1）で、Auto Crop Tracking 中の Crop 枠の角度を設定できます。

[Upper Body]ボタンが ON 状態

被写体の上半身が画面に収まるように Crop 枠の角度を自動調整します。

[Full Body]ボタンが ON 状態

被写体の全身が画面に収まるように Crop 枠の角度を自動調整します。

[Full]ボタンが ON 状態

被写体とその背景が画面に収まるように Crop 枠の角度を自動調整します。

すべてのボタンが OFF 状態

Crop 枠の角度の自動調整は行われません。Zoom 操作部で角度を調整できます。

<NOTE>

- ・[Full]／[Full Body]／[Upper Body]のいずれかのボタンが ON 状態になったタイミングで、Auto Crop Tracking 操作エリアの[Start/Stop]は、自動で Auto Crop Tracking によるカメラ移動の開始[Start]状態になります。

- 2) [Target Position]ボタン（上図2）及び、[Target Size]ボタン／スライダー（上図3）により、各 Crop 枠のアングルの詳細設定を行えます。

[Target Position]ボタン

[Full]／[Full Body]／[Upper Body]のいずれかのボタンが ON 状態の場合、もしくは、すべてのボタンが OFF 状態の場合に、[Target Position]ボタンを ON 状態にすると、対象のアングルの追尾被写体の位置を調整することができます。

Crop 映像エリアをクリックすることにより、対象のアングルの追尾被写体の頭上の位置を意味する十字マーク（+）を調整できます。

<NOTE>

- ・ 追尾被写体の位置は Crop 枠ごとかつ、アングルごとに保存されます。
ただし、すべてのアングルボタンが OFF 状態の場合は、保存されません。

[Target Size]ボタン／スライダー

[Full]／[Full Body]／[Upper Body]のいずれかのボタンが ON 状態の場合、[Target Size]エリアの [Small]ボタン、[Large]ボタン、横スライダーにて追尾被写体のサイズを調整できます。

<NOTE>

- ・ 追尾被写体のサイズは Crop 枠ごとかつ、アングルごとに保存されます。
- ・ 本機能は、下記のパナソニック製リモートカメラでは動作しません。

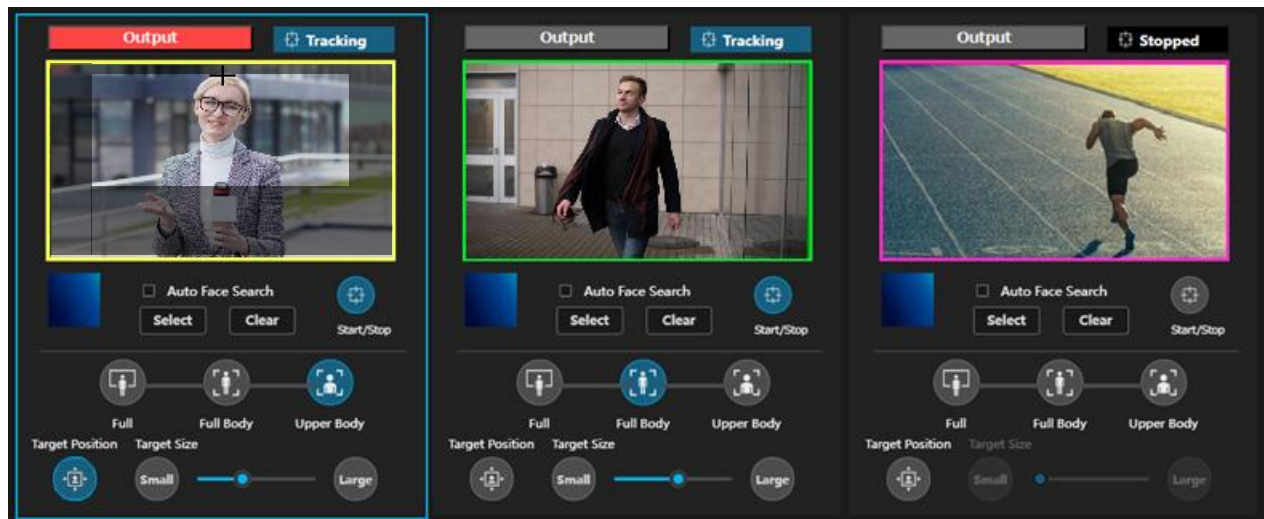
AW-UE150/UE155/UN145

(2025 年 9 月現在)

・ Target Position の設定の流れ

設定は以下の手順で行います。

1. 設定したい Crop 枠のアングルボタン ([Full]、[FullBody]、[UpperBody])を左クリックします。 ※1
追尾対象が所定の位置、サイズになるように調整されます。
何も設定されていない場合：初期位置(Crop 映像の中心位置の上方)、すでに設定したことがある場合：前回設定された位置
2. 設定したい Crop 枠の[Target Position]ボタンを左クリックします。 ※1
3. Crop 映像内に黒色の十字マークと、白色の枠が描画されます。
十字マークは追尾対象の頭上の位置を、白色の枠は追尾対象の頭上の位置の指定可能範囲を示します。
4. Crop 映像内を左クリックすることにより、追尾対象の画角内の位置を変更することができます。
この追尾対象位置はアングルごとに保存されます。



・ Target Size の設定の流れ

設定は以下の手順で行います。

1. 設定したい Crop 枠のアンクルボタン ([Full]、[FullBody]、[UpperBody])を左クリックします。※2
追尾対象が所定の位置、サイズになるように調整されます。
何も設定されていない場合：初期サイズ、すでに設定したことがある場合：前回設定されたサイズ
2. 設定したい Crop 枠の[Target Size]ボタン ([Small]、[Large]) の左クリックまたは、[Target Size]スライダーのドラッグ&ドロップにより、追尾対象のサイズを変更することができます。
この追尾対象サイズはアンクルごとに保存されます。

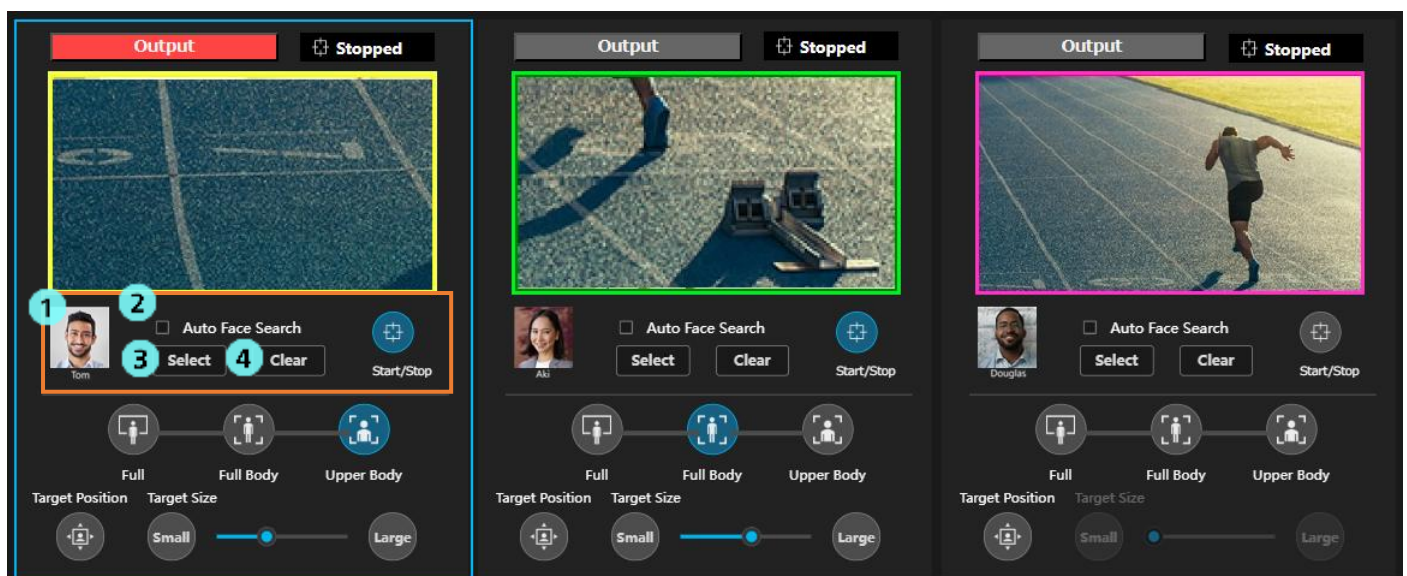
<NOTE>

※1：[Target Position]ボタンがON状態でかつ、アンクルボタンがいずれもON状態でない場合は、
Crop 映像内を左クリックすることで、現在の追尾対象の位置を変更することができます。

この時、[Tracking Start/Stop]ボタンを手動で ON にする必要があります。

※2：アンクル設定を行う場合は、Crop 画角内に人物が存在する必要があります。

Auto Crop Tracking 中の顔認証を設定する



Crop 枠ごとに顔認証を設定することができます。

1. 設定顔の表示

顔認証の認証元として設定されている人物の顔写真と名前が表示されます。

2. Auto Face Search チェックボックス

チェックを入れると、顔認証用に登録されている人物全員の顔データと Full 映像内で検出された顔との比較処理を行い、いずれかの人物が検出されたときはその人物を追尾処理の対象とします。Auto Face Search が ON で追尾を行う場合、顔データの ID（表示順）が小さいほど、検出の優先順位が高くなります。ただし、Auto Face Search が ON でも、他の Crop 枠で設定されている設定顔は検出対象から除外されます。

3. Select ボタン

Select Face ウィンドウを表示します。

Select Face ウィンドウでは、顔認証の認証元として使用する顔データの選択を行うことができます。

4. Clear ボタン

Crop 枠に紐づく顔認証の認証元として設定されている顔データをクリアします。

<NOTE>

- ・顔認証を設定している場合、設定している被写体のみを追尾対象とします。
- ・Full 映像内に人物の顔が検出されている場合に顔を左ダブルクリックすると、その顔データを CropAdjust 枠の顔認証の認証元として設定します。この顔データは保存されません。
- ・顔認証機能は被写体の顔が小さすぎる場合、正しく被写体を認識できないことがあります。

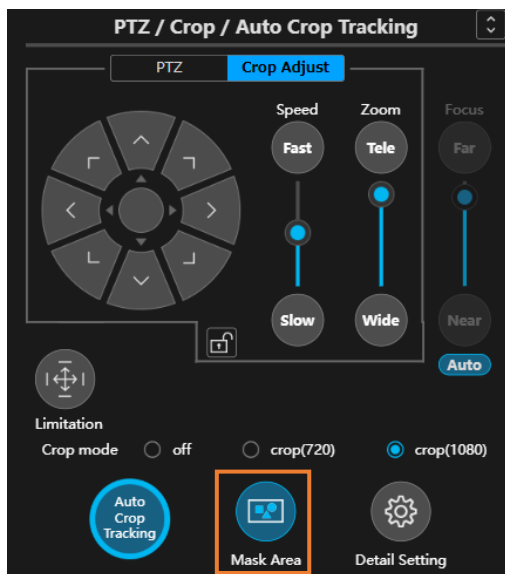
Auto Crop Tracking 中の認証する顔データを選択する

詳細は本書の「[Auto Tracking 中の証する顔データを選択する](#)」を参照してください。

認証する顔データを追加する

詳細は本書の「[認証する顔データを追加する](#)」を参照してください。

マスクエリアの設定



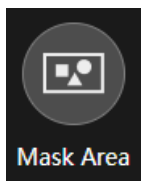
追尾対象を検出するときのマスク領域（Full 映像内で検出時に使用しない領域）を設定することができます。ここで設定するマスク領域は Auto Tracking 機能で設定されるマスク領域とは別に保存されます。設定は以下の手順で行います。

1. [Mask Area]ボタンを左クリックします。
2. Full 映像上で左クリックした後にドラッグすると、グレースアウトの領域が表示されます。
ドラッグを終了すると、設定が完了します。マスクエリア枠は最大 10 枠まで作成可能です。
3. マスクエリア枠の指定を解除するときは、枠の右上の X ボタンを左クリックします。
4. マスクエリア枠を移動したい時は、作成した枠内で左クリックした後にドラッグすると、枠の位置を調整できます。

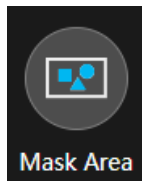
マスクエリア枠のサイズを変更したい時は、作成した枠の角または辺の上で、左クリックした後にドラッグすると、枠のサイズを調整できます。

5. [Mask Area]ボタンを OFF にして、設定を終了します。

この時、マスクエリア枠が 1 個以上設定されている場合は、[Mask Area]ボタンのアイコンが以下のように更新されます。

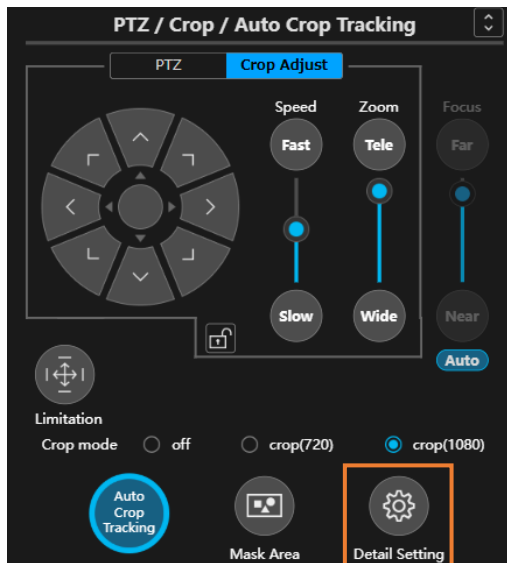


マスクエリア枠
設定数：0

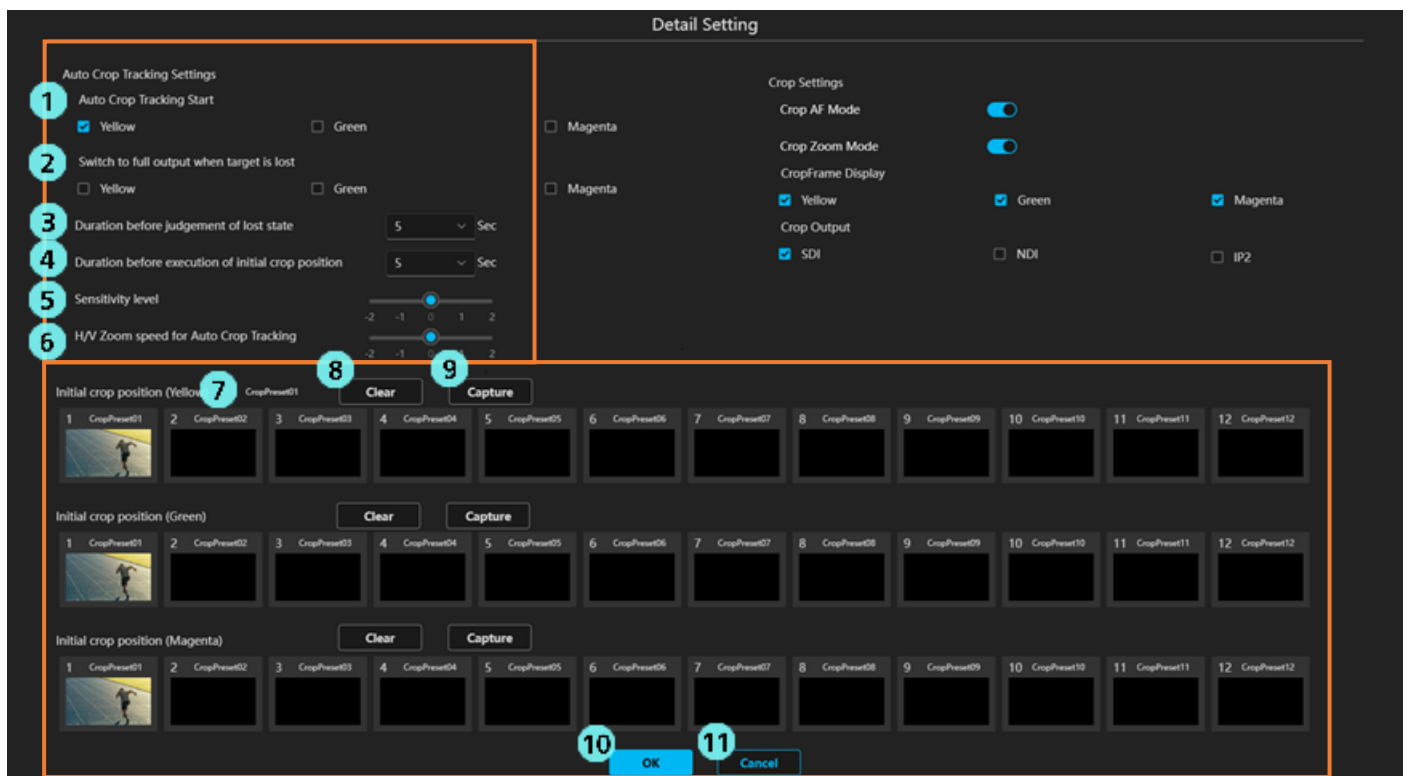


マスクエリア枠
設定数：1 個以上

詳細設定



Auto Crop Tracking 操作エリアの[Detail Setting]ボタン(上図枠線部)をクリックすることで、Auto Crop Tracking の詳細設定をするウィンドウが開きます。このウィンドウから、Auto Crop Tracking の詳細設定をすることができます。



1. Auto Crop Tracking Start

Crop 枠ごとに、追尾対象を検出したときの動作を設定します。

チェックが ON のときは、その Crop 枠における追尾対象が検出されると自動で Crop 枠の追尾動作を開始します。

2. Switch to full output when target is lost

追尾対象をロストしたときのカメラ映像出力の動作を設定します。

チェックが ON の Crop 枠の追尾対象がロスト状態になった時かつ、その Crop 枠が映像出力状態にある時に、自動でカメラの映像出力を Full 映像に切り替えます。

3. Duration before judgement of lost state

追尾対象が検出されなくなってから、ロストと判定するまでの時間（秒数）を設定します。

1～30 秒の範囲で設定可能です。

4. Duration before execution of initial crop position

追尾対象がロストしてから Crop 枠の位置を Crop プリセット位置に戻すまでの時間（秒数）を設定します。0～30 秒の範囲で設定可能です。

プリセット位置の登録は 7. Initial crop position 画面で選択します。

5. Sensitivity

追尾対象の動きに対する Crop 枠の追尾動作の感度を、-2～0～2 の範囲で設定します。

値が大きいほど、感度が高くなります。

6. H/V/Zoom speed for Auto Crop Tracking

追尾対象に追従する Crop 枠制御のスピードを、-2～0～2 の範囲で設定します。

値が大きいほど、スピードが速くなります。

7. Initial crop position (Yellow、Green、Magenta)

Crop プリセットのサムネイル画像をクリックすることで、追尾対象をロストした際に実行する Crop プリセットを選択します。何も選択していない場合、Crop プリセットは実行せず、その Crop 枠の位置に停止しています。

8. Clear ボタン (Yellow、Green、Magenta)

7.Initial crop position(Yellow、Green、Magenta)で選択した Crop プリセットを

キャンセルし、該当の Crop 枠において Initial crop position が何も登録されていない状態になります。

9. Capture ボタン (Yellow、Green、Magenta)

指定の Crop 枠において、現在の Crop 枠の位置、サイズを Initial crop position として登録します。

<NOTE>

・ Capture ボタンがクリックされた時、未登録の Crop プリセット番号に現在の Crop 枠の位置、サイズが自動で登録されます。

もし、未登録の Crop プリセットが存在しない場合は、Capture を使用することはできません。

10. OK ボタン

設定を有効にしてウィンドウを閉じます。

11. Cancel ボタン

設定をキャンセルしてウィンドウを閉じます。

周辺機器を使用した Auto Tracking／Auto Crop Tracking 操作

外部コントローラで Auto Tracking／Auto Crop Tracking 操作を行う

外部コントローラを使用して、Auto Tracking／Auto Crop Tracking の各種操作を行うことができます。
詳細は、下記のインターフェイス仕様書／プロトコルのドキュメントリストの中から、Media Production Suite Auto Tracking プラグイン Web API 仕様書のドキュメントを参照してください。

[ドキュメント \(panasonic.co.jp\)](http://panasonic.co.jp)

キーボードで Auto Tracking／Auto Crop Tracking 操作を行う

クライアント PC に接続されているキーボードから Auto Tracking／Auto Crop Tracking の各種操作を行うことができます。

Auto Tracking／Auto Crop Tracking 以外のリモートカメラの各種操作は PTZ Control 機能の操作説明書の「キーボードでカメラ操作を行う」を参照ください。

キーと操作の割り当ては以下の通りです。

キー	Auto Tracking 操作	Auto Crop Tracking 操作
Shift + S	Tracking Start/Stop 切り替え	CropAdjust 枠に対して Tracking Start/Stop 切り替え
Shift + P	キーが押されている間のみ 追尾を一時停止	CropAdjust 枠に対して キーが押されている間のみ 追尾を一時停止
Shift + D	現在設定されているアングルの Target Position を初期位置に戻す	CropAdjust 枠に対して 現在設定されているアングルの Target Position を初期位置に戻す

アカウント権限による機能制限

権限による制限の一覧

Administrator/Super User/User のアカウント権限のうち User 権限では使用できる機能に制限が発生します。
以下の表で○になっている箇所が使用できる機能になります。

		Administrator	Super User	User
操作可能なカメラ		すべて	すべて	許可されたカメラのみ
Auto Tracking 操作	Auto Tracking 機能の ON/OFF	○	○	○
	追尾の Start/Stop	○	○	○
	アングル設定	○	○	○
	Target Position の設定	○	○	○
	Target Size の設定	○	○	○
	顔認証用の顔データの選択	○	○	○
	顔データの追加	○	○	○
	Auto Start Area の設定	○	○	○
	Mask Area の設定	○	○	○
	Detail Setting の設定	○	○	
Auto Crop Tracking 操作	Auto Crop Tracking 機能の ON/OFF	○	○	○
	各 Crop 枠の追尾 Start/Stop	○	○	○
	各 Crop 枠のアングル設定	○	○	○
	各 Crop 枠の Target Position の設定	○	○	○
	各 Crop 枠の Target Size の設定	○	○	○
	各 Crop 枠の顔認証用の顔データの選択	○	○	○
	顔データの追加	○	○	○
	Mask Area の設定	○	○	○
	Detail Setting の設定	○	○	
GPU 操作	プラグインの GPU 割り当て変更	○		
顔データベース操作	顔データの追加	○	○	○
	顔データの編集	○		
	顔データの削除	○		